

参考資料1 広島市のこどもと子育て家庭を取り巻く現況

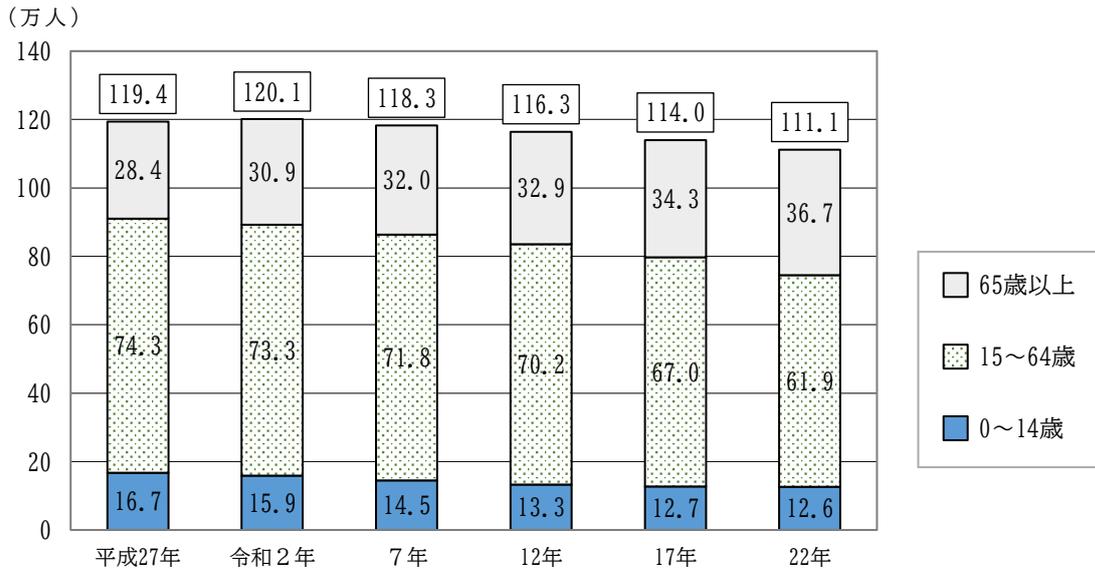
【目次】

| | |
|-------------------------------------|-----|
| (1) 人口等 | 148 |
| 総人口の推計 | 148 |
| 世帯数と平均世帯人員の推計 | 148 |
| 年齢区分別の児童数 | 149 |
| 出生数及び合計特殊出生率 | 149 |
| 高齢出産率 | 150 |
| 婚姻率及び離婚率 | 150 |
| 平均初婚年齢 | 150 |
| 年齢区分別の未婚率 | 151 |
| (2) こどもと親の健康 | 151 |
| 集団健康診査の受診率 | 151 |
| 子育てをされていて、いらいらすることが多いと回答した親の割合 | 151 |
| 子育てのことで不安に思ったり、悩んだりすることがあると回答した親の割合 | 152 |
| (3) 幼児教育・保育 | 152 |
| 保育園等入園希望児童数、入園待機児童数 | 152 |
| 保育園等定員及び入園児童数 | 152 |
| 幼稚園等定員及び入園児童数 | 153 |
| 保育園等・幼稚園等の入園状況 | 153 |
| 保育園等・幼稚園の園数 | 153 |
| (4) 学校教育 | 154 |
| 市立学校の児童生徒数 | 154 |
| 就学援助の受給者数 | 154 |
| (5) 放課後等の居場所 | 154 |
| 放課後児童クラブのクラス数、利用申込者数、待機児童数 | 154 |
| (6) 青少年の健全育成 | 155 |
| 乳幼児をもつ保護者の喫煙率 | 155 |
| 青少年指導員の地域内巡回による補導少年数 | 155 |
| 検挙・補導した非行少年数 | 155 |
| (7) 児童虐待 | 156 |
| 児童虐待の相談・通告件数 | 156 |
| 18歳未満人口に対する相談・通告件数の割合 | 156 |
| 相談・通告のあった児童の年齢構成 | 157 |

| | |
|---|-----|
| (8) 社会的養育 | 157 |
| 里親委託児童数及び登録里親数 | 157 |
| ファミリーホーム及び自立援助ホーム在籍者数 | 157 |
| 乳児院在籍者数 | 158 |
| 児童養護施設在籍者数 | 158 |
| (9) 障害のあるこども | 158 |
| 18歳未満の障害児数（手帳所持者数） | 158 |
| 広島市こども療育センターにおける発達障害の新規診療件数 | 159 |
| (10) いじめ、不登校 | 159 |
| 市立学校におけるいじめの認知件数 | 159 |
| 市立学校における不登校児童生徒数 | 159 |
| (11) こどもの貧困 | 160 |
| こどもの貧困率（全国） | 160 |
| 経済的な状況（広島市） | 160 |
| (12) ひとり親家庭 | 160 |
| 母子・父子世帯数及び児童扶養手当受給者数 | 160 |
| 母子・父子世帯の平均世帯人員及び平均年間収入（全国） | 161 |
| (13) 外国人 | 161 |
| 外国人市民の数 | 161 |
| (14) 地域 | 161 |
| 町内会・自治会加入率 | 161 |
| ファミリー・サポート・センター事業の会員登録数 | 162 |
| 固定的性別役割分担意識 | 162 |
| (15) 就労 | 163 |
| 年齢階層別の労働力率 | 163 |
| 育児休業取得率（広島県） | 164 |
| 25～44歳の女性就業率 | 164 |
| 共働き等世帯数（全国） | 165 |
| (16) 安全・安心なまちづくり | 165 |
| こどもを対象とした声かけ事案等 | 165 |
| こどもの交通事故発生件数 | 166 |
| 交通事故におけるこどもの負傷者数 | 166 |
| 令和5年度「広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」及び「こどもアンケート」 報告書（概要版） | 167 |

(1) 人口等

◆総人口の推計【各年10月1日現在】



(国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計)

※平成27年、令和2年は、国勢調査の結果による。

※表示の単位未満は、四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。

◆世帯数と平均世帯人員の推計【各年10月1日現在】



(単位：万世帯、人)

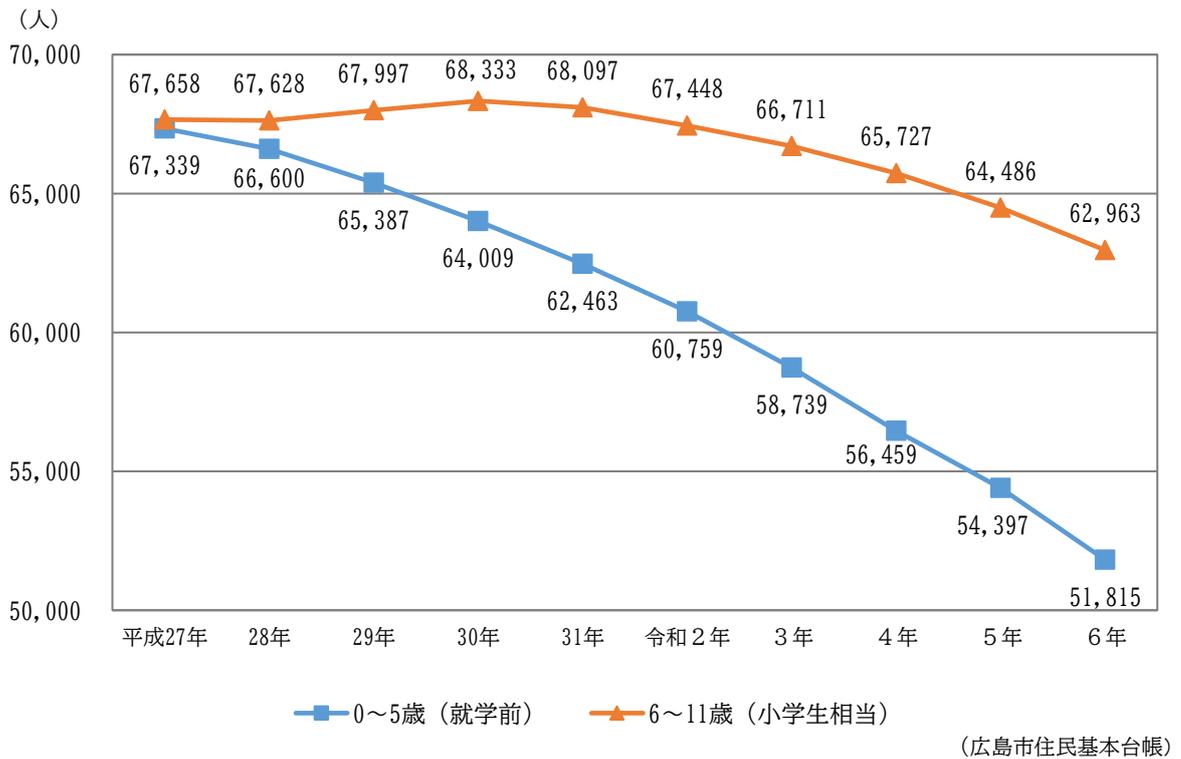
| 区分 | 平成27年 | 令和2年 | 7年 | 12年 | 17年 | 22年 |
|------------------------|-------|------|------|------|------|------|
| 一般世帯 | 53.1 | 55.4 | 57.6 | 58.1 | 57.8 | 56.5 |
| 単独世帯 | 20.1 | 22.5 | 24.5 | 25.8 | 26.2 | 26.0 |
| 夫婦のみ世帯 | 10.9 | 11.5 | 11.8 | 11.5 | 11.4 | 11.1 |
| その他の世帯 | 22.1 | 21.5 | 21.3 | 20.8 | 20.1 | 19.4 |
| 総人口を一般世帯数で除した場合の平均世帯人員 | 2.20 | 2.17 | 2.05 | 2.00 | 1.97 | 1.97 |

(広島市こども未来局)

※平成27年、令和2年は、国勢調査の結果による。令和7年以降は、令和2年国勢調査の結果、並びに、国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）及び日本の世帯数の将来推計（令和6年推計）を基に作成

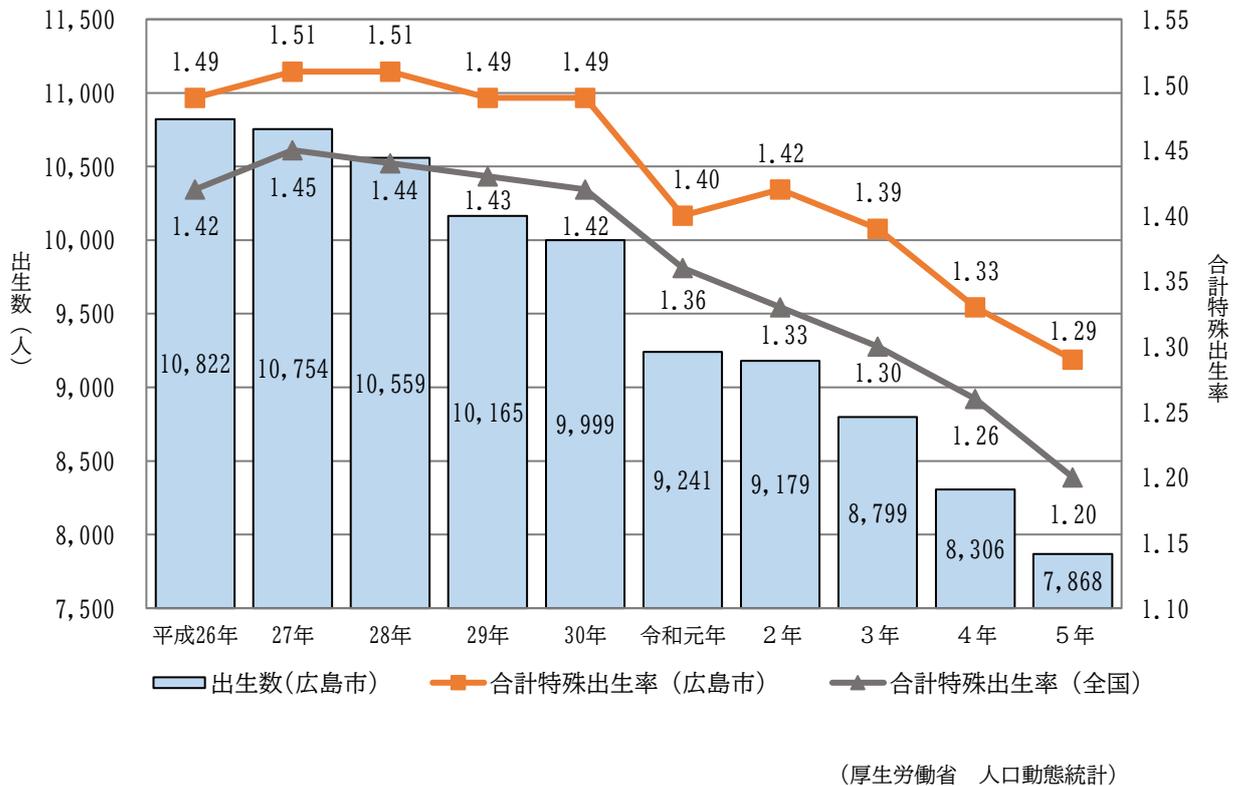
※表示の単位未満は、四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。

◆年齢区別の児童数【各年3月31日現在】



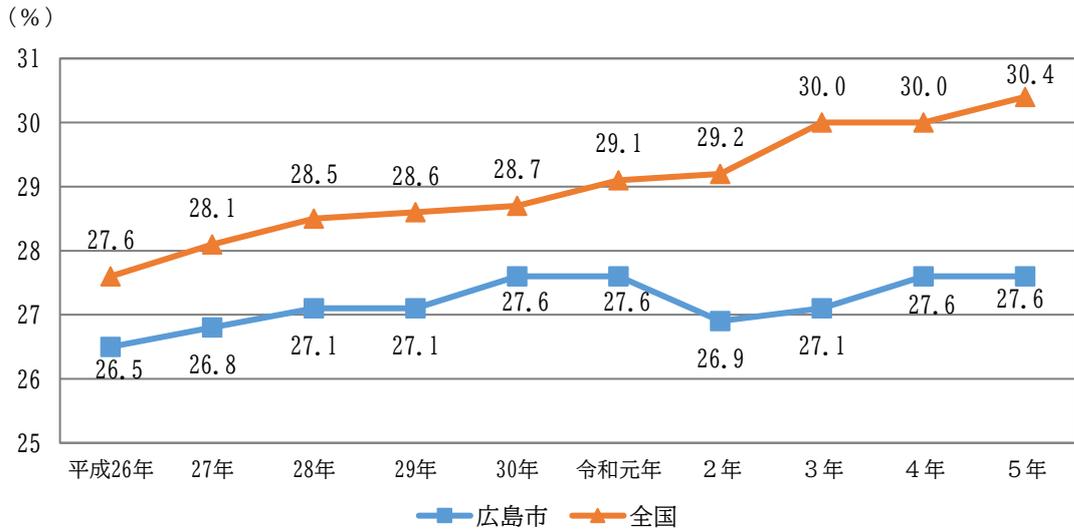
◆出生数及び合計特殊出生率（注）

注：その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときのこどもの数に相当するもの



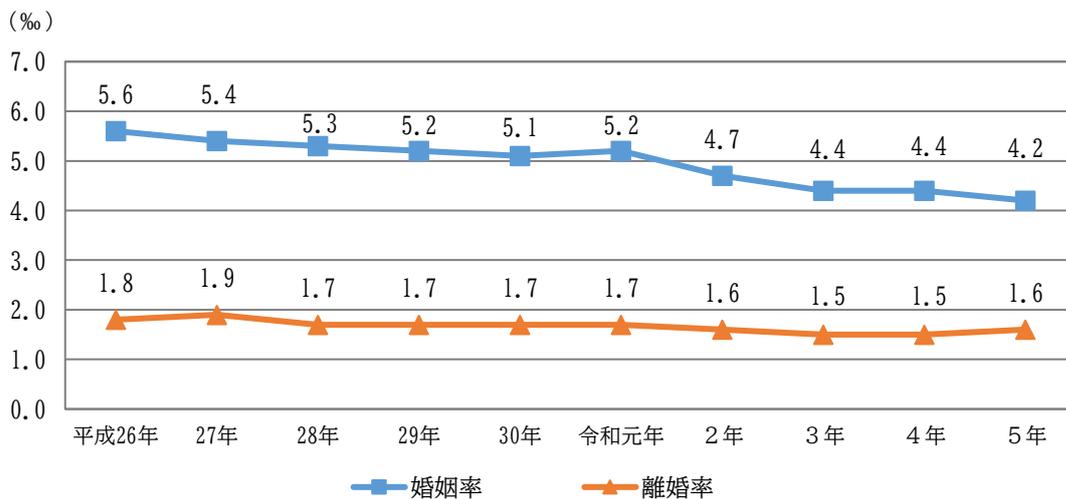
◆高齢出産率（注）

注：総出生数のうち35歳以上で出産した割合



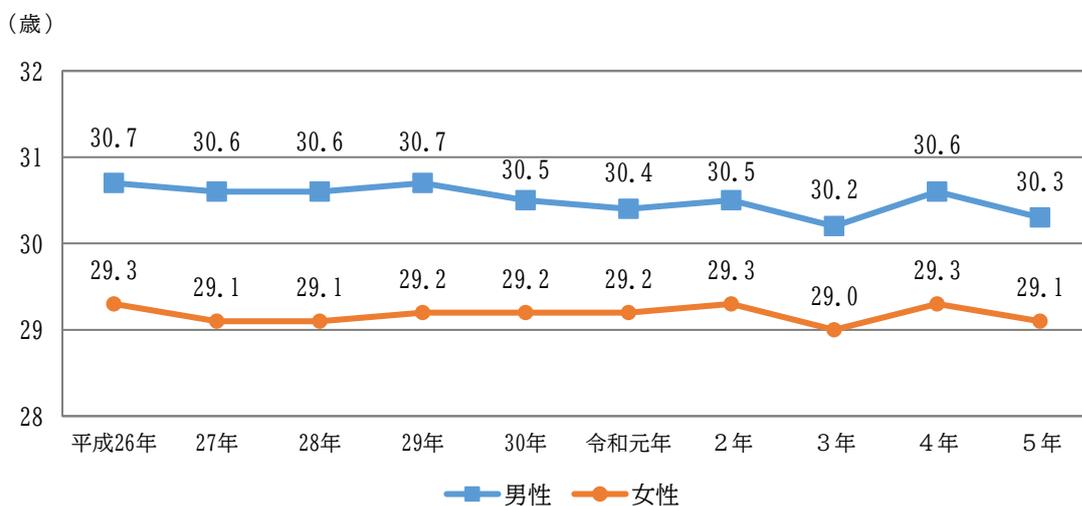
（厚生労働省 人口動態統計）

◆婚姻率及び離婚率（人口千対）



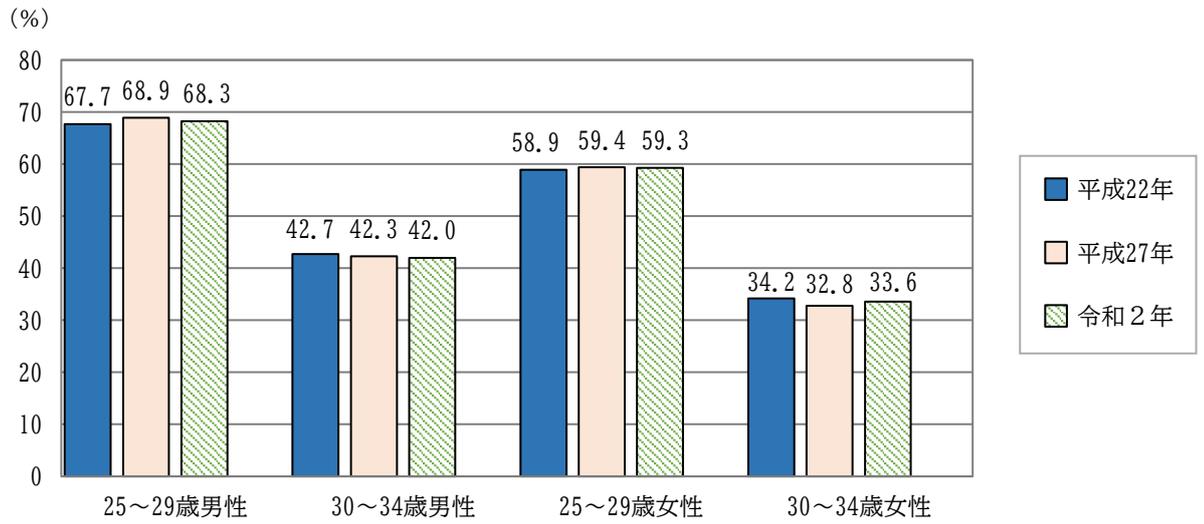
（厚生労働省 人口動態統計）

◆平均初婚年齢



（厚生労働省 人口動態統計）

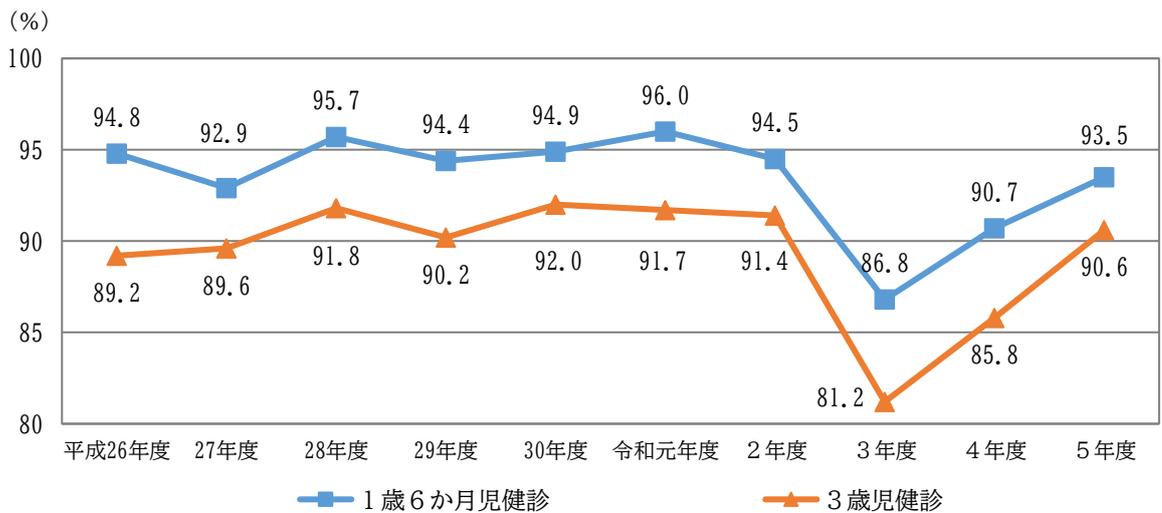
◆年齢区分別の未婚率



(総務省 国勢調査)

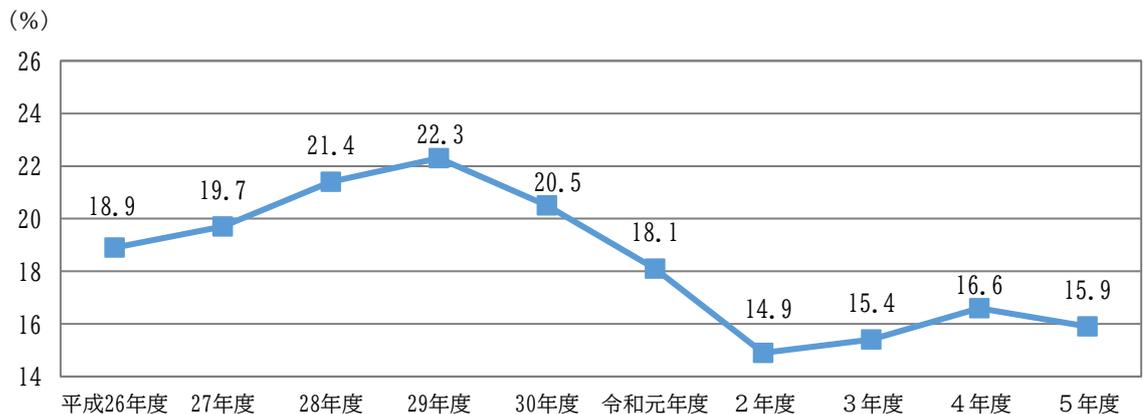
(2) こどもと親の健康

◆集団健康診査の受診率



(広島市こども未来局)

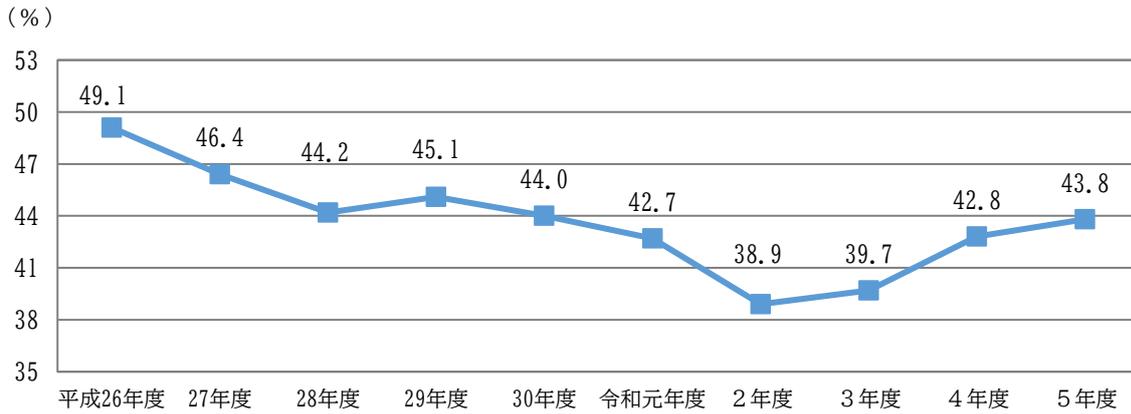
◆子育てをしていて、いろいろすることが多いと回答した親の割合



(広島市こども未来局)

※4か月児健康相談での結果による。

◆子育てのことで不安に思ったり、悩んだりすることがあると回答した親の割合



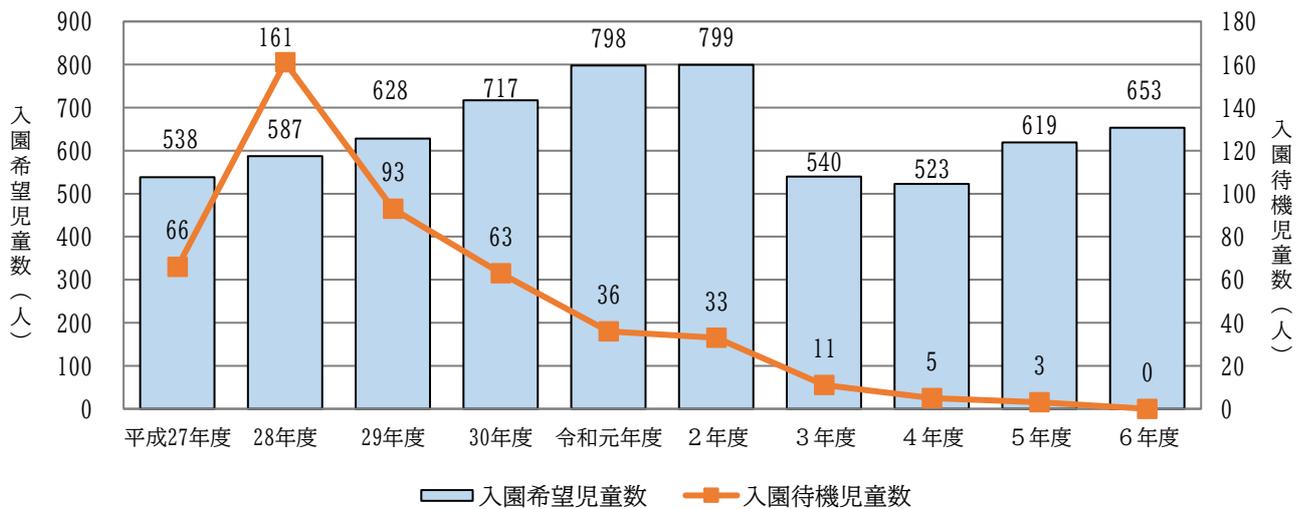
※ 4 か月児健康相談での結果による。

(広島市こども未来局)

(3) 幼児教育・保育

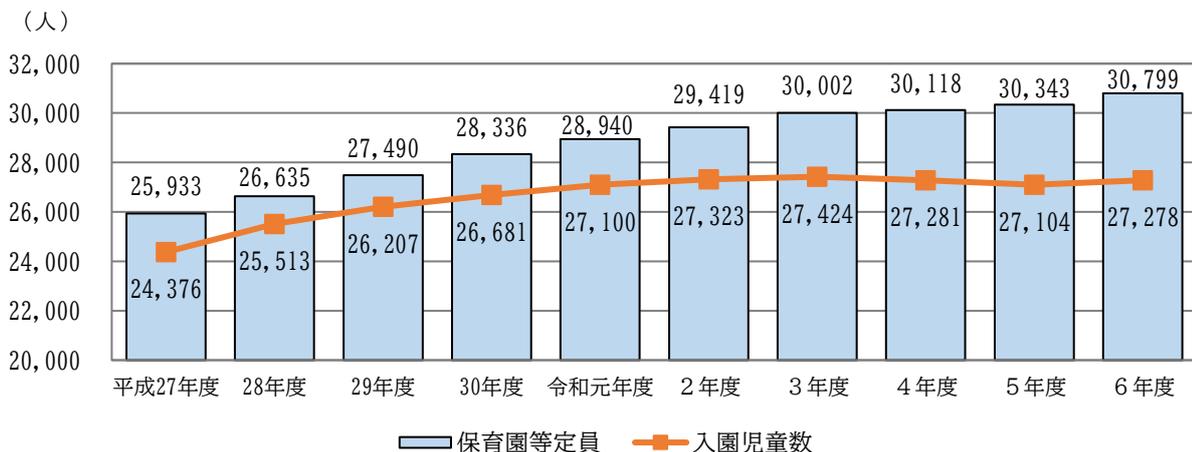
「保育園等」… 保育園、認定こども園（2号・3号認定）、小規模保育事業所、事業所内保育事業所
 「幼稚園等」… 幼稚園、認定こども園（1号認定）

◆保育園等入園希望児童数、入園待機児童数【各年度4月1日現在】



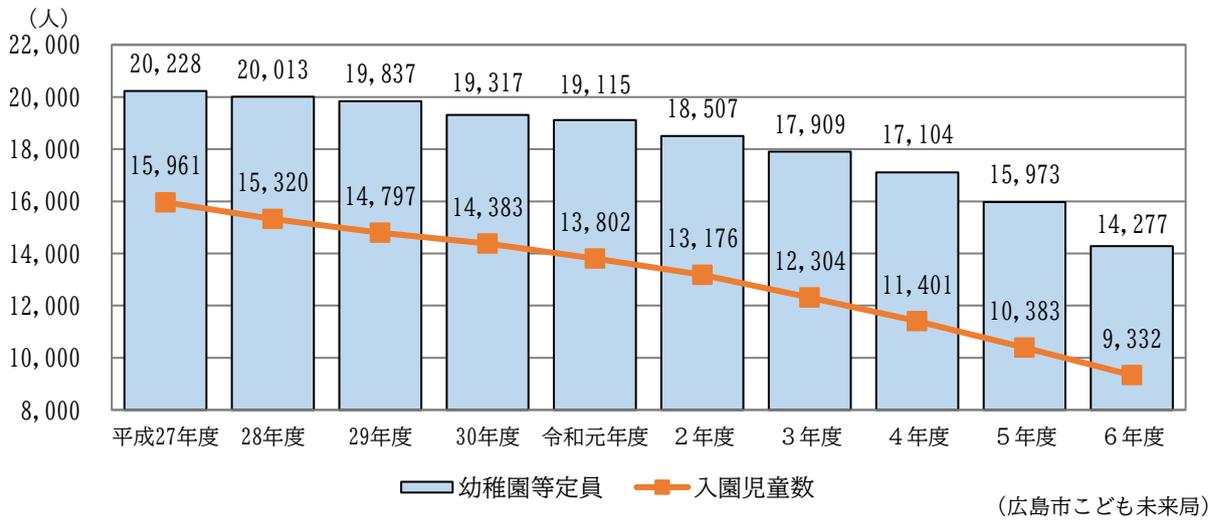
(広島市こども未来局)

◆保育園等定員及び入園児童数【各年度4月1日現在】



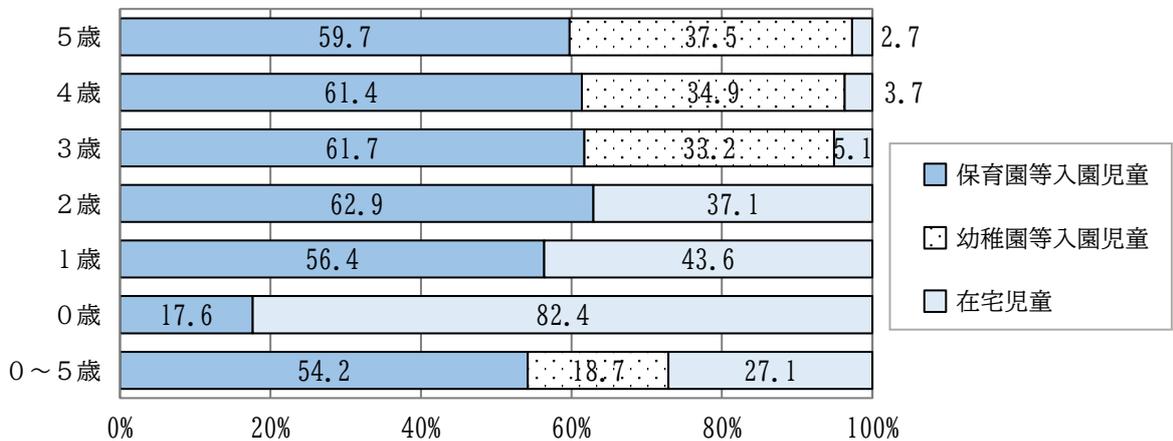
(広島市こども未来局)

◆幼稚園等定員及び入園児童数【各年度5月1日現在】



※ 文部科学省 学校基本調査の結果を基に作成

◆保育園等・幼稚園等の入園状況【令和6年5月1日現在】



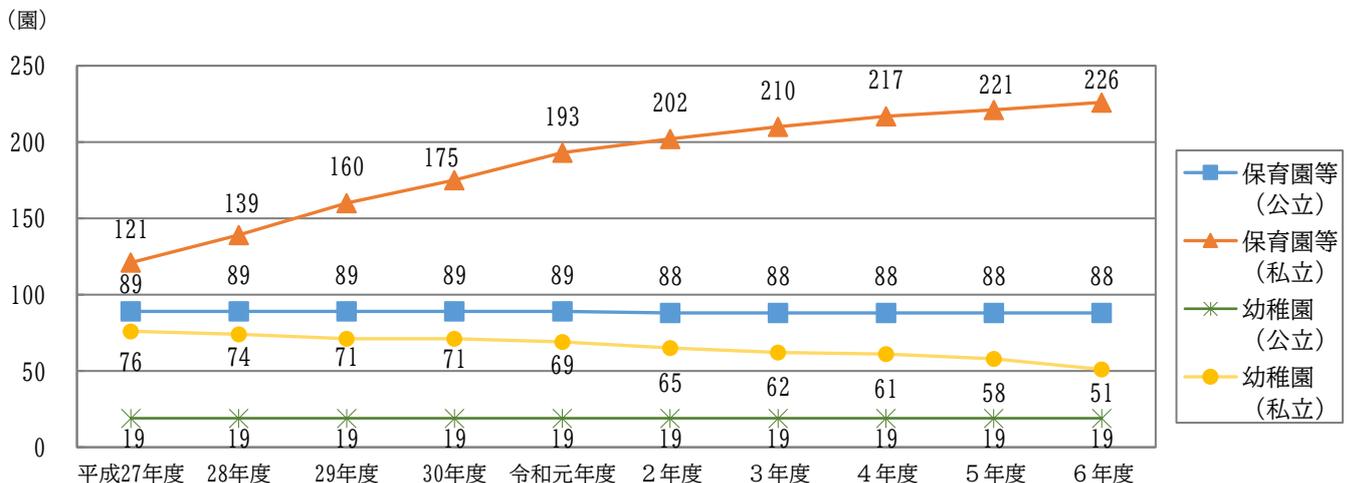
※表示の単位未満は、四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

※広島市住民基本台帳の年齢別人数に対する割合

※在宅児童は、保育園等、幼稚園等入園児童数を除いた人数の割合

※文部科学省 学校基本調査の結果を基に作成

◆保育園等・幼稚園の園数【保育園等：各年度4月1日現在、幼稚園：各年度5月1日現在】



※文部科学省 学校基本調査の結果を基に作成

(4) 学校教育

◆市立学校の児童生徒数【各年度5月1日現在】

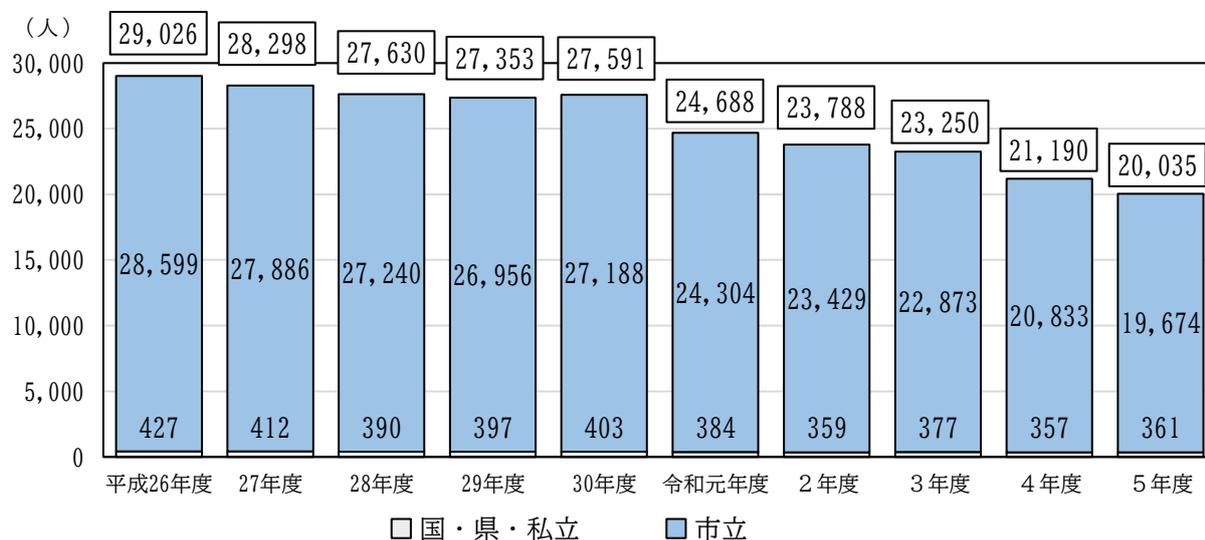
(単位：人)

| 区分 | 令和元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 小学校 | 65,817 (2,009) | 65,136 (2,207) | 64,400 (2,419) | 63,396 (2,644) | 62,121 (2,835) | 60,667 (3,003) |
| 中学校 | 27,927 (603) | 28,210 (690) | 28,445 (749) | 28,482 (831) | 28,453 (912) | 28,317 (1,028) |
| 高等学校 | 6,355 | 6,673 | 6,798 | 6,763 | 6,801 | 7,012 |
| 中等教育学校 | 699 | 703 | 705 | 693 | 683 | 687 |
| 特別支援学校 | 560 | 541 | 553 | 555 | 551 | 577 |

(広島市教育委員会)

※()内は、特別支援学級に在籍する児童生徒数の再掲

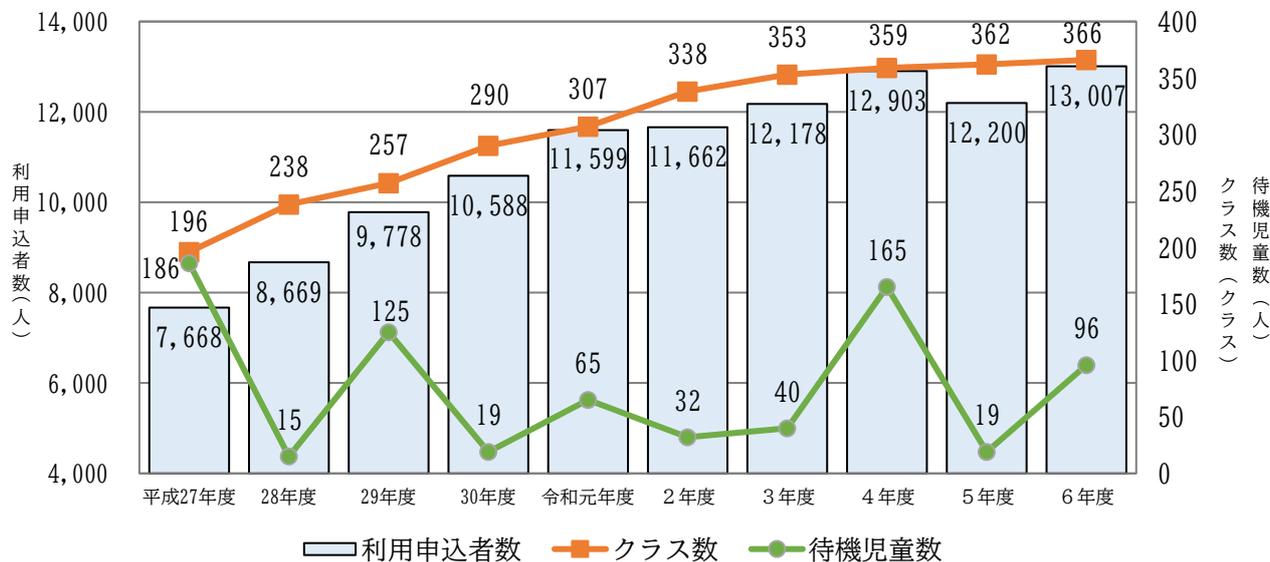
◆就学援助の受給者数



(広島市教育委員会)

(5) 放課後等の居場所

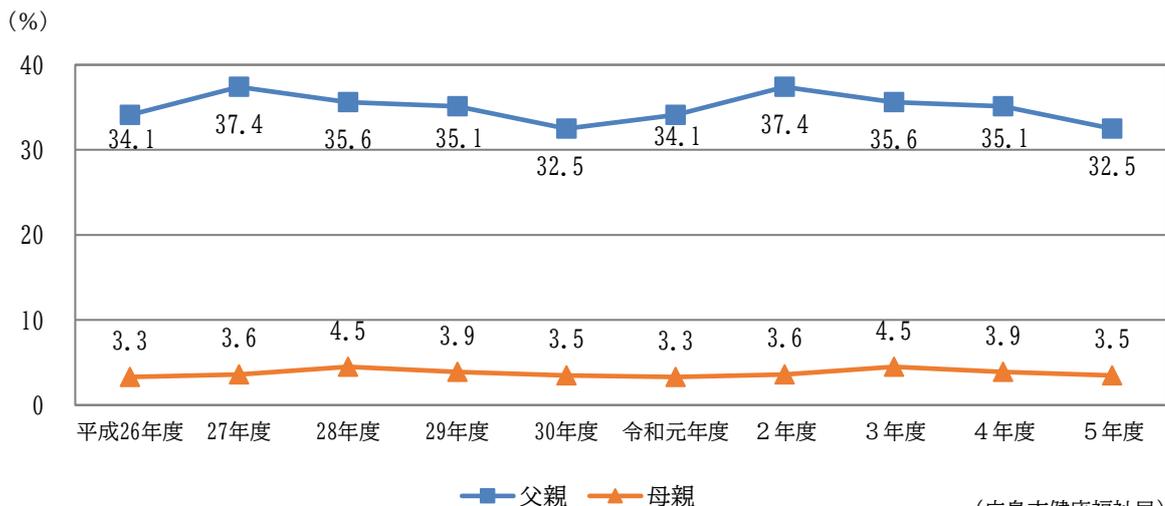
◆放課後児童クラブのクラス数、利用申込者数、待機児童数【各年度5月1日現在】



(広島市こども未来局)

(6) 青少年の健全育成

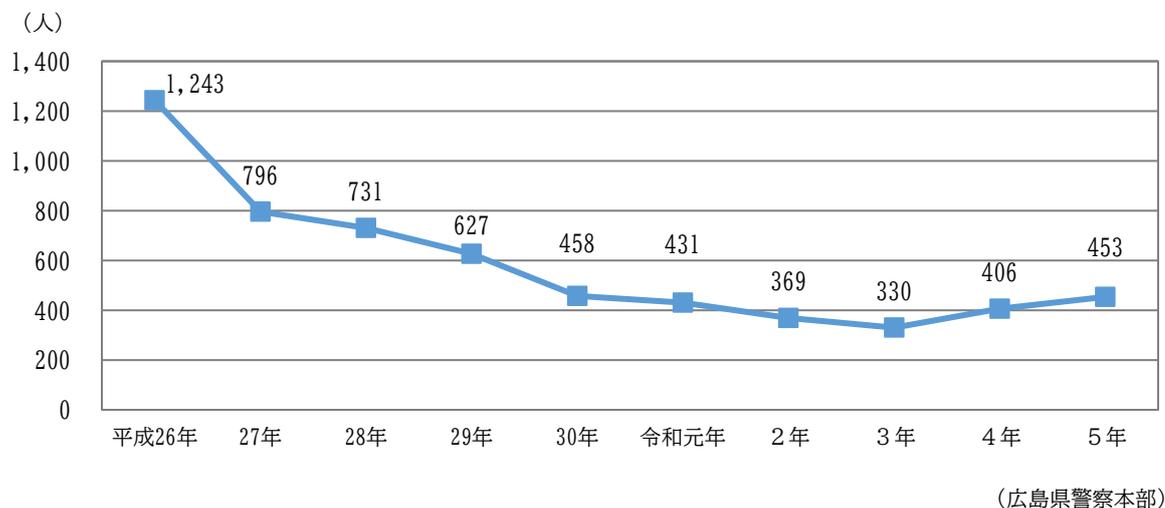
◆乳幼児をもつ保護者の喫煙率



◆青少年指導員の地域内巡回による補導少年数【各年度3月31日現在】



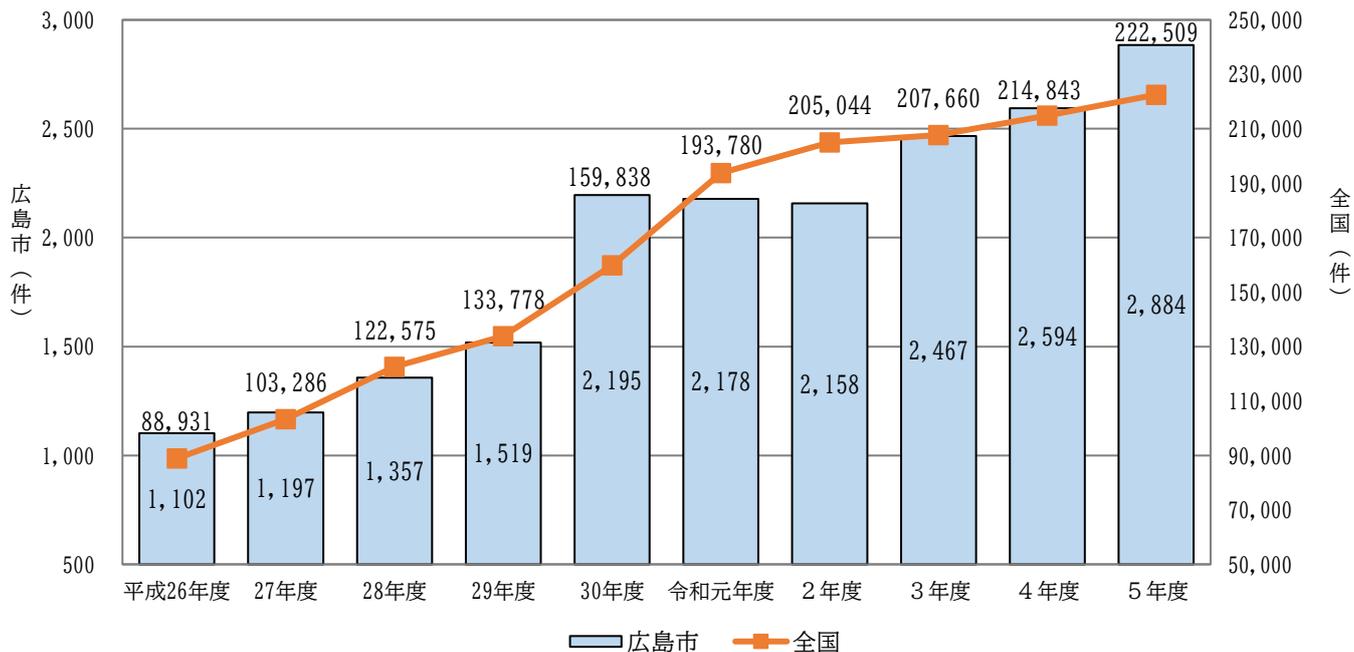
◆検挙・補導した非行少年数



※広島市域（広島中央、広島東、広島南、広島西、安佐南、安佐北、佐伯、海田の各警察署管内）における人数

(7) 児童虐待

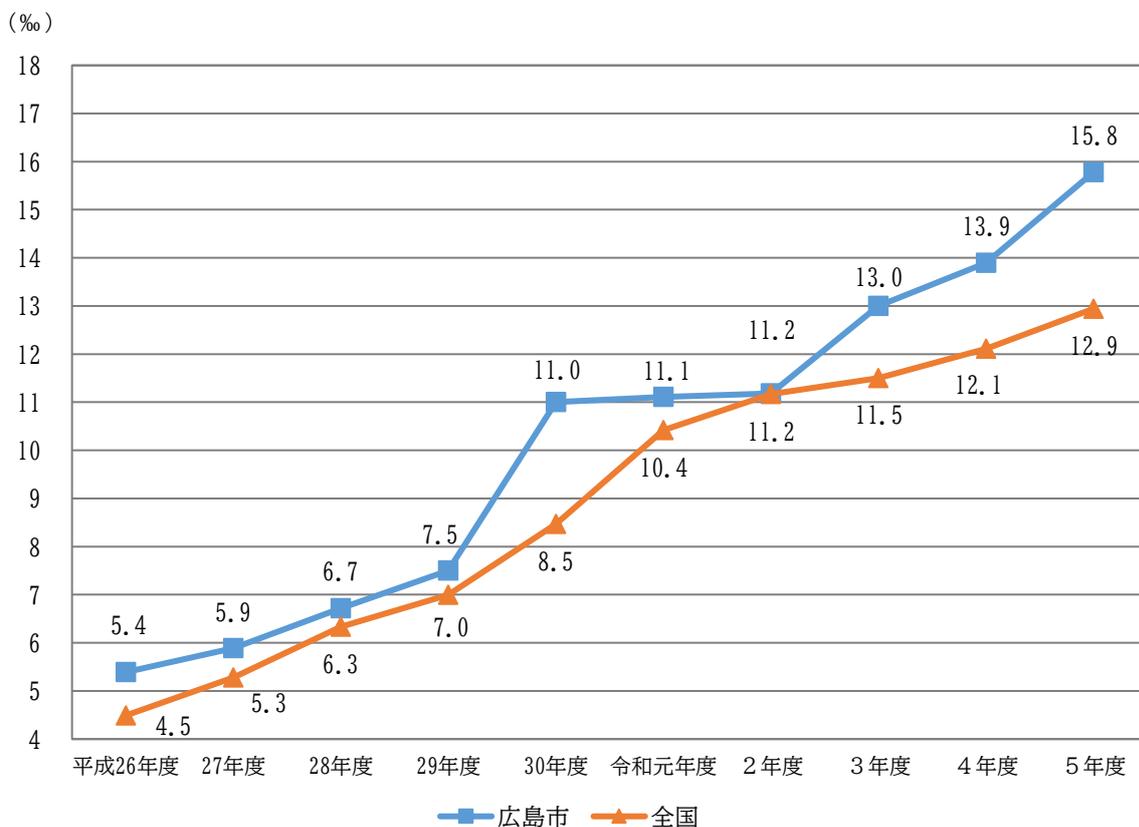
◆児童虐待の相談・通告件数



(広島市：広島市こども未来局)

(全国：厚生労働省 児童相談所での児童虐待相談対応件数)

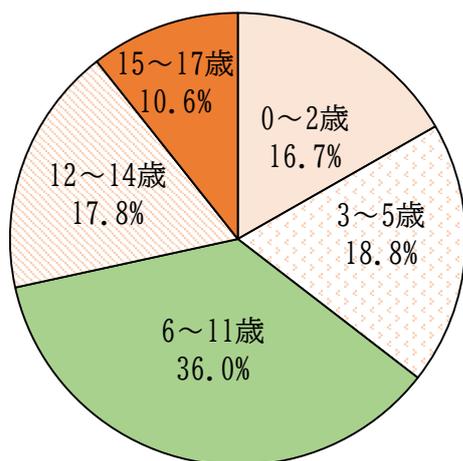
◆18歳未満人口に対する相談・通告件数の割合（人口千対）



(広島市：広島市こども未来局)

(全国：厚生労働省 児童相談所での児童虐待相談対応件数)

◆相談・通告のあった児童の年齢構成【令和5年度】

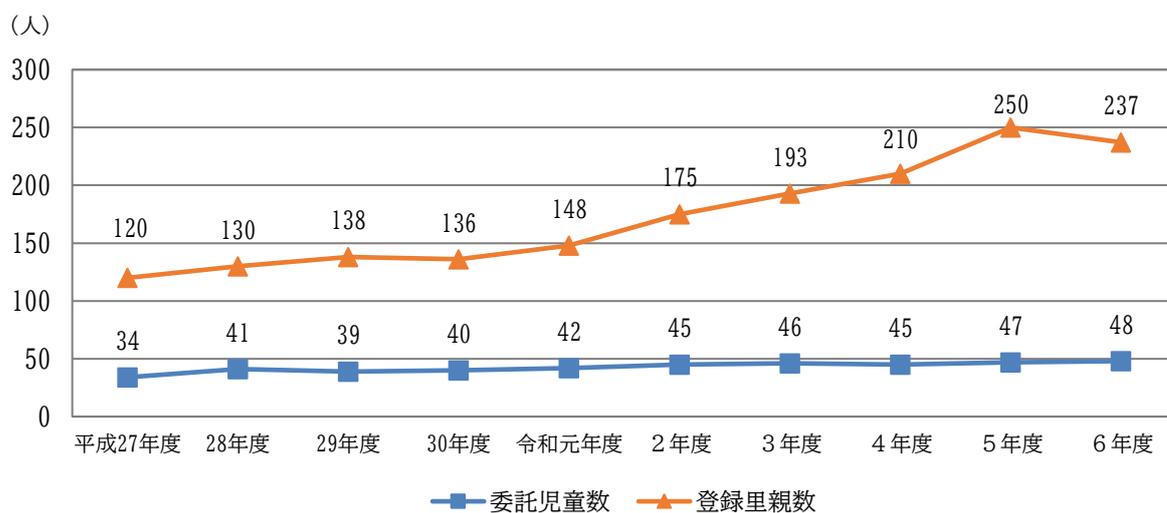


(広島市こども未来局)

※表示の単位未満は、四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

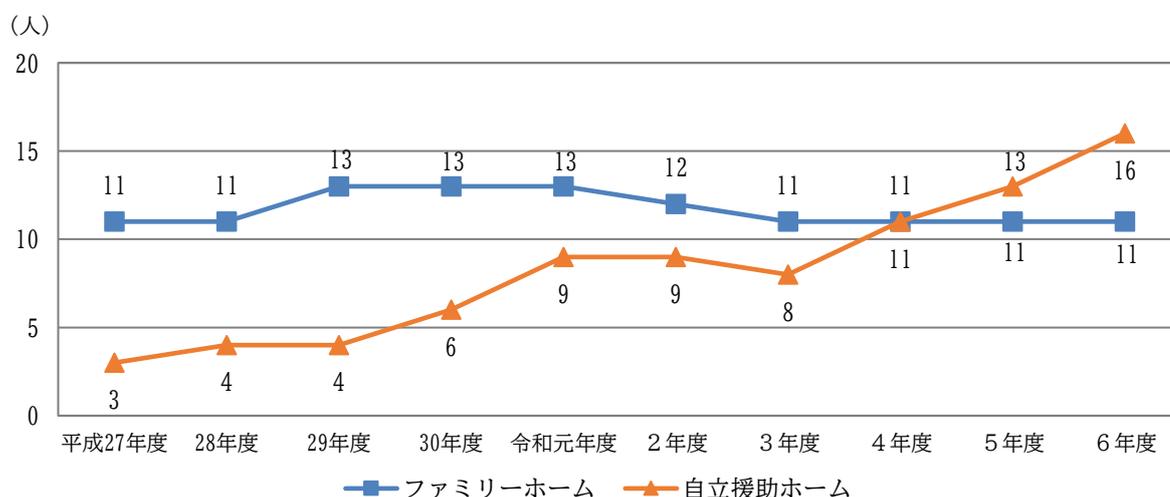
(8) 社会的養育

◆里親委託児童数及び登録里親数【各年度4月1日現在】



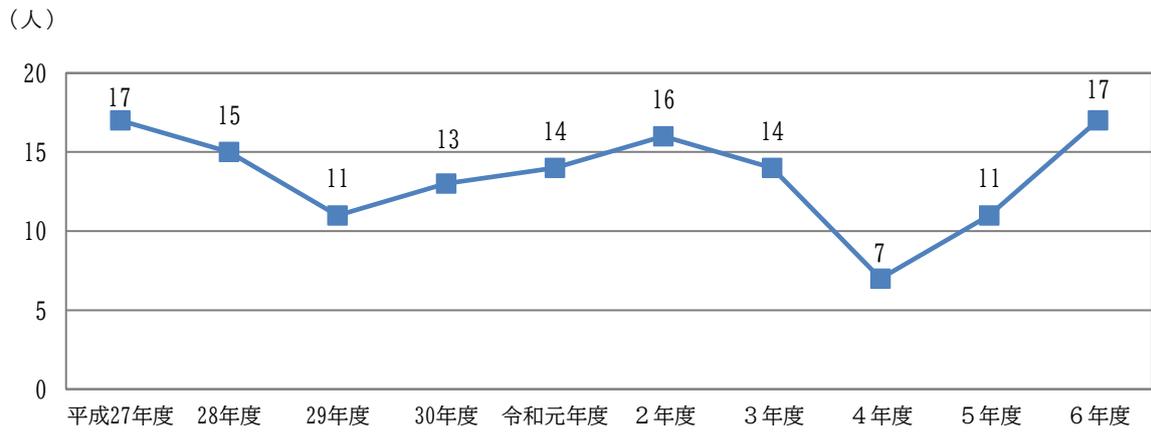
(広島市こども未来局)

◆ファミリーホーム及び自立援助ホーム在籍者数【各年度4月1日現在】



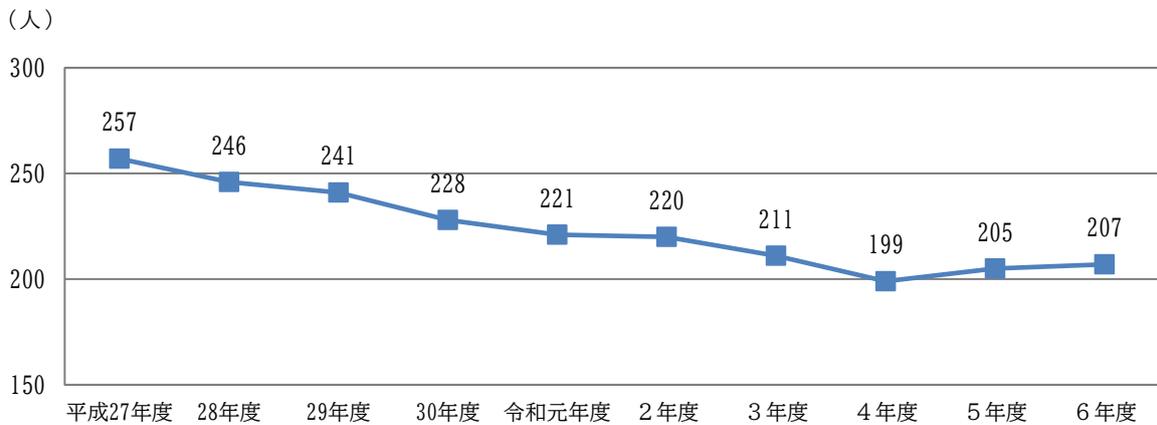
(広島市こども未来局)

◆乳児院在籍者数【各年度4月1日現在】



(広島市こども未来局)

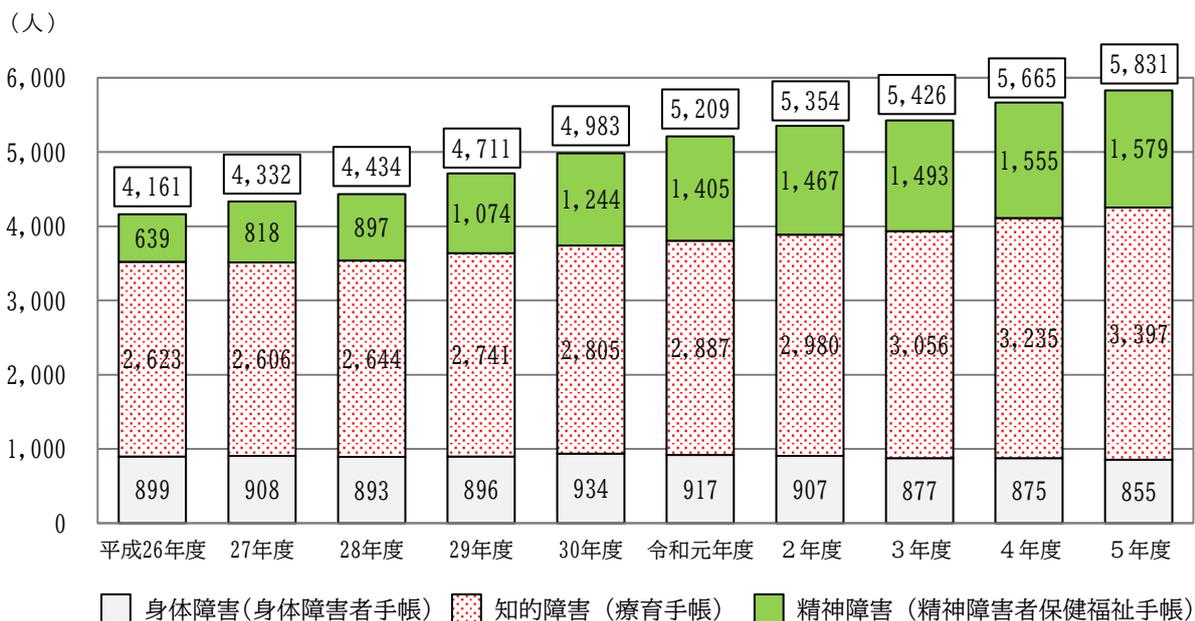
◆児童養護施設在籍者数【各年度4月1日現在】



(広島市こども未来局)

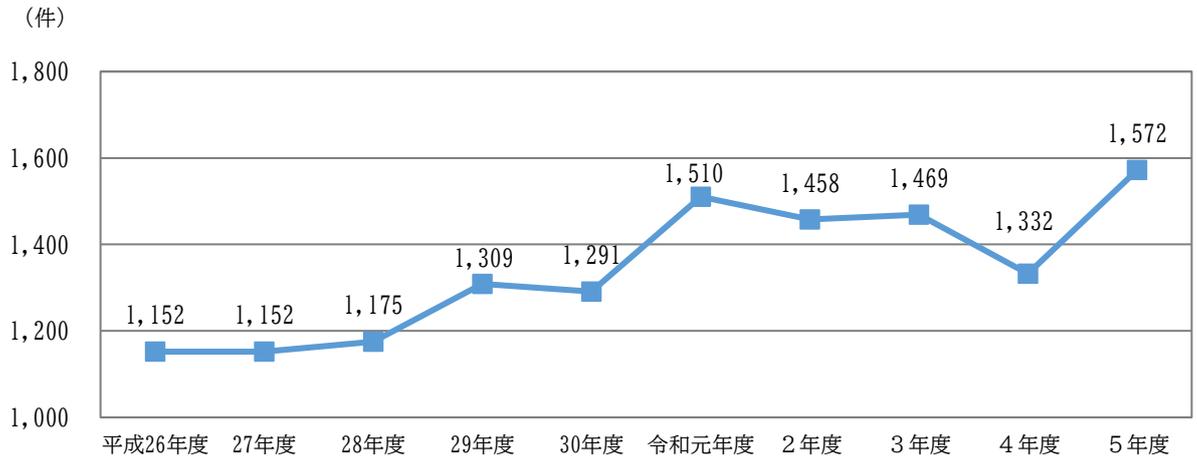
(9) 障害のある子ども

◆18歳未満の障害児数(手帳所持者数)【各年度3月31日現在】



(広島市健康福祉局)

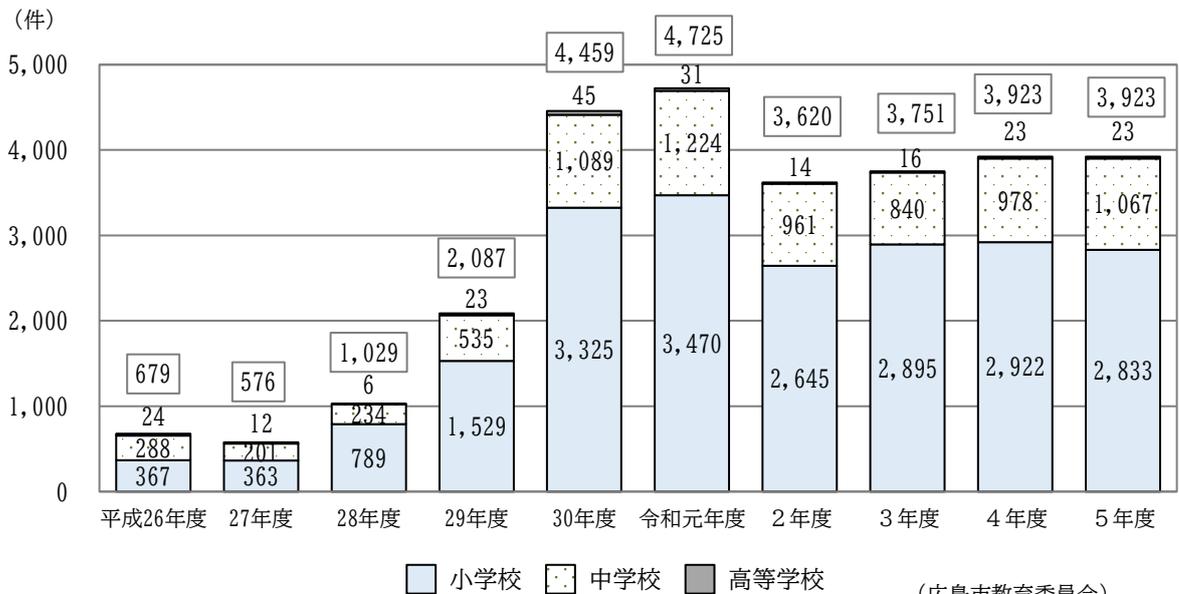
◆広島市こども療育センターにおける発達障害の新規診療件数



(広島市こども療育センター)

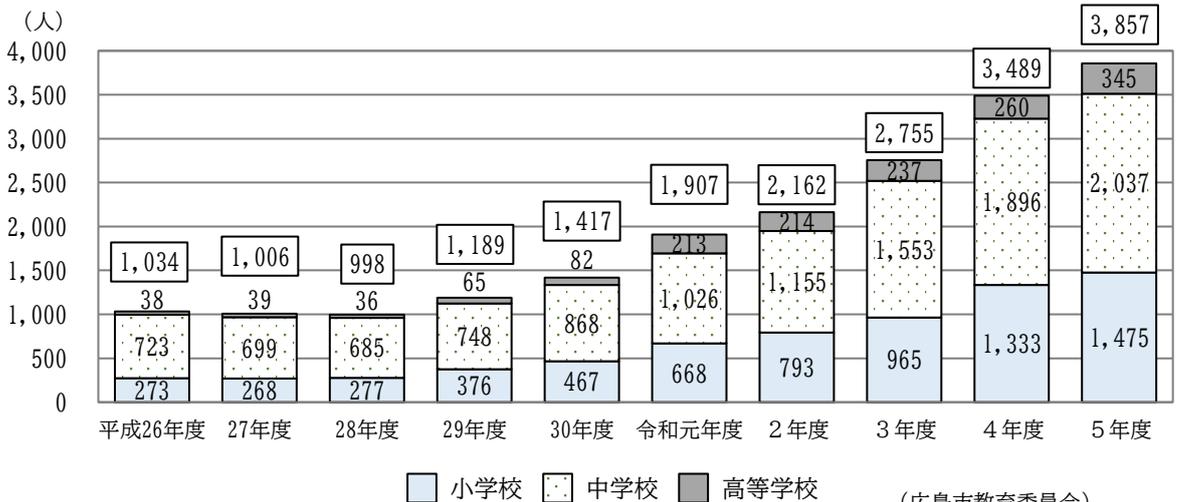
(10) いじめ、不登校

◆市立学校におけるいじめの認知件数



(広島市教育委員会)

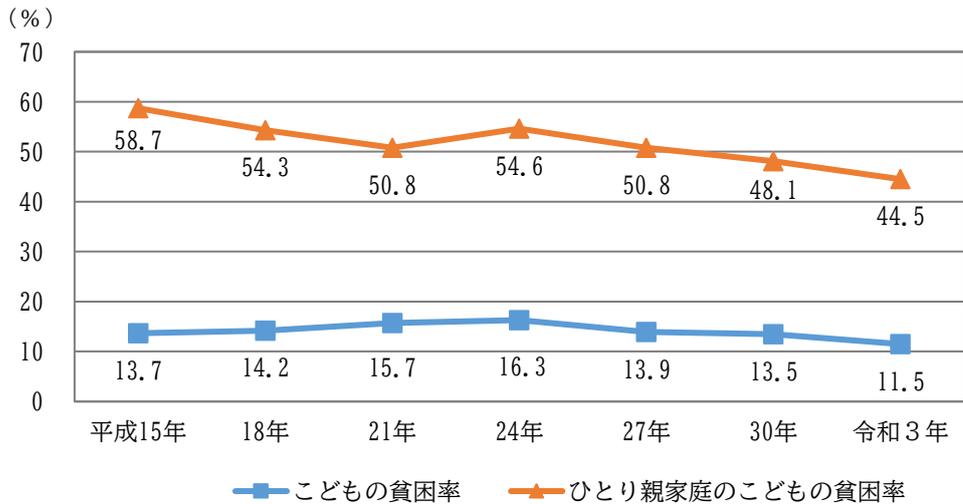
◆市立学校における不登校児童生徒数



(広島市教育委員会)

(11) こどもの貧困

◆こどもの貧困率（全国）



（厚生労働省 国民生活基礎調査）

※貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）に満たない世帯に属する17歳以下のこどもの割合

◆経済的な状況（広島市）【令和5年度】

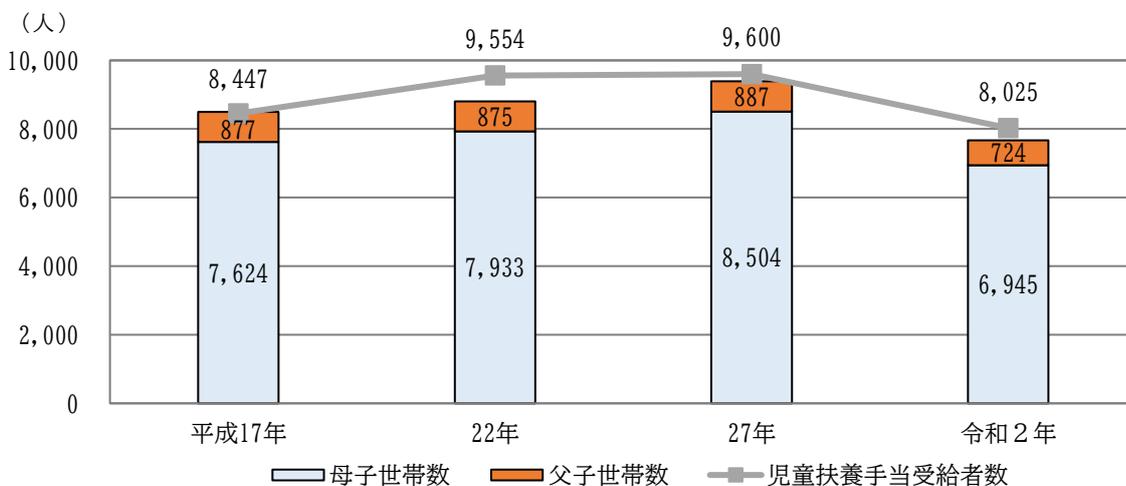
(%)

| 区分 | 小学5年生 | | 中学2年生 | |
|----------------------|-------|--------|-------|--------|
| | 全体 | ひとり親世帯 | 全体 | ひとり親世帯 |
| 等価世帯収入が中央値の2分の1未満の世帯 | 8.7 | 52.5 | 10.8 | 59.8 |

（広島市子どもの生活に関する実態調査）

(12) ひとり親家庭

◆母子・父子世帯数及び児童扶養手当受給者数



（総務省 国勢調査）

※母子世帯（父子世帯）とは、未婚、死別又は離別の女親（男親）と、その未婚の20歳未満の子どもからなる一般世帯（他の世帯員がないもの）をいう。

※児童扶養手当受給者数は、各年度の数値（広島市子ども未来局）

◆母子・父子世帯の平均世帯人員及び平均年間収入（全国）

| 区分 | 平成18年度 | 23年度 | 28年度 | 令和3年度 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 母子世帯の平均世帯人員 | 3.30人 | 3.42人 | 3.29人 | 3.20人 |
| 父子世帯の平均世帯人員 | 4.02人 | 3.77人 | 3.65人 | 3.44人 |
| 母子世帯の平均年間収入 | 213万円 | 291万円 | 348万円 | 375万円 |
| 父子世帯の平均年間収入 | 421万円 | 455万円 | 573万円 | 605万円 |
| 児童のいる世帯の平均年間収入 | 718.0万円 | 658.1万円 | 707.6万円 | 813.5万円 |

（厚生労働省 全国ひとり親世帯等調査）

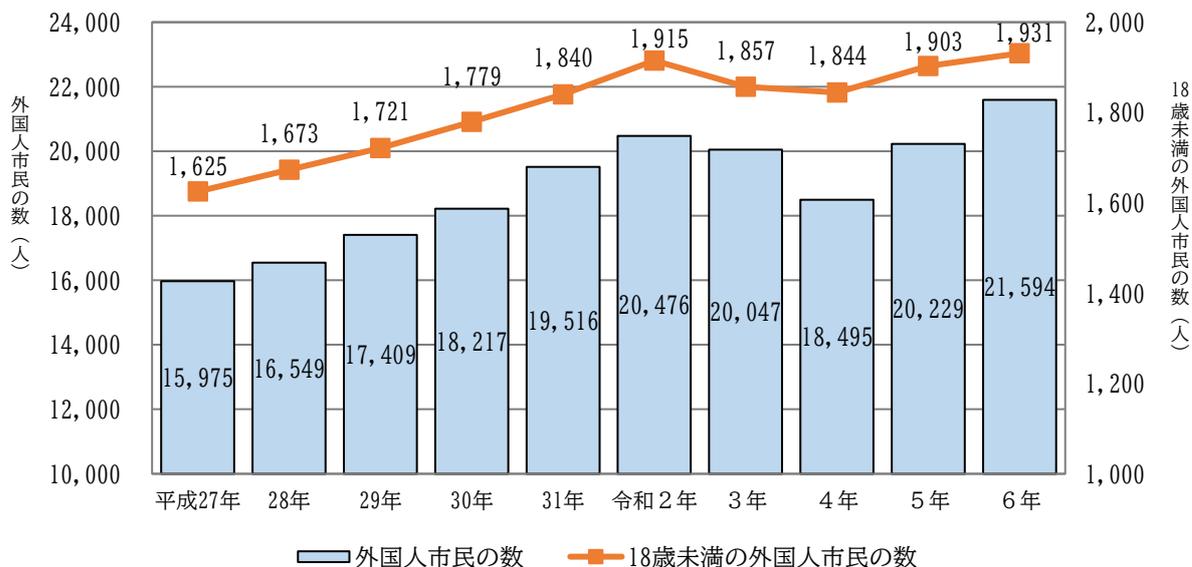
※児童のいる世帯平均収入は、国民生活基礎調査の結果による。

※平均世帯人員は、各年度の11月1日現在の数値

※平均年間収入は、平成18年度は平成17年、平成23年度は平成22年、平成28年度は平成27年、令和3年度は令和2年の数値

(13) 外国人

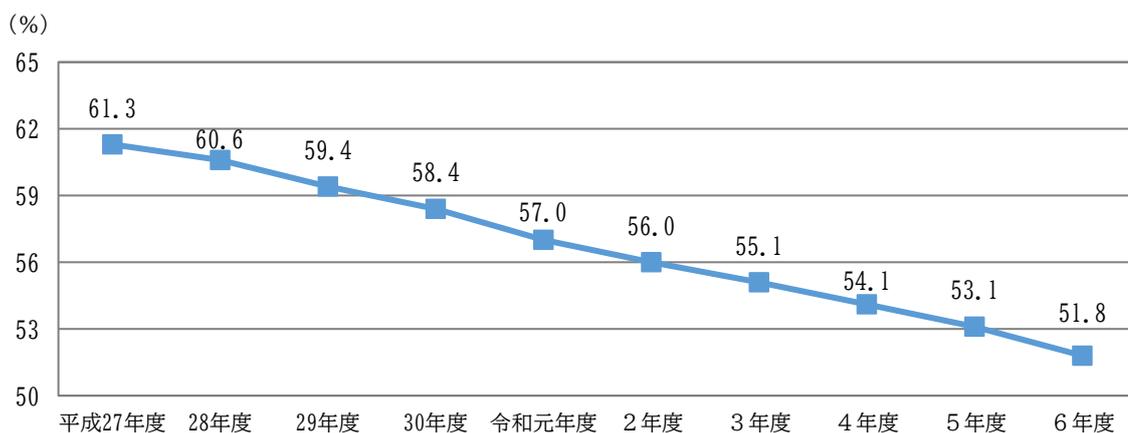
◆外国人市民の数【各年3月31日現在】



（広島市住民基本台帳）

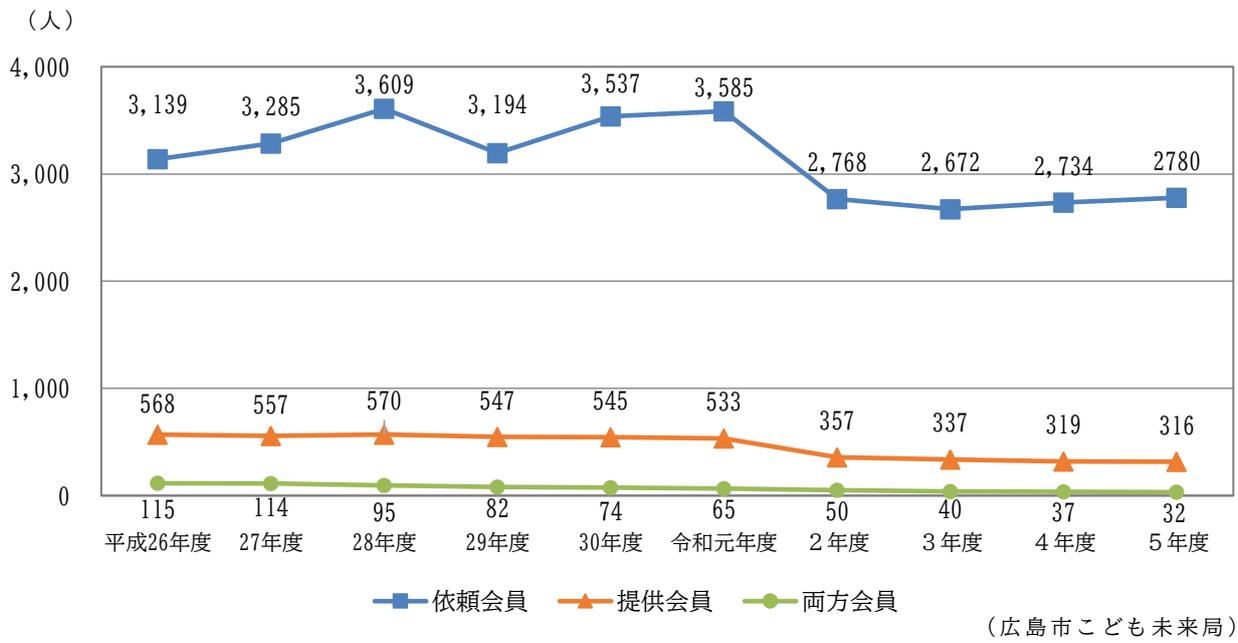
(14) 地域

◆町内会・自治会加入率【各年度7月1日現在】

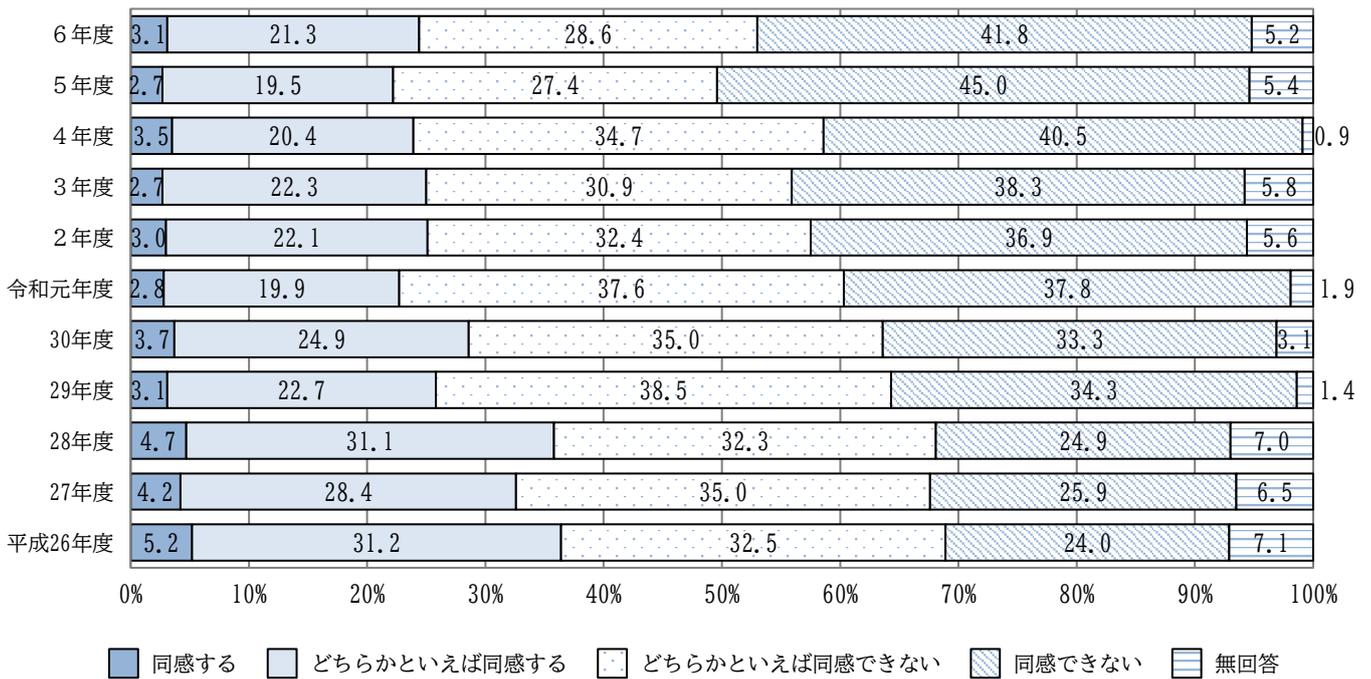


（広島市市民局）

◆ファミリー・サポート・センター事業の会員登録数【各年度3月31日現在】



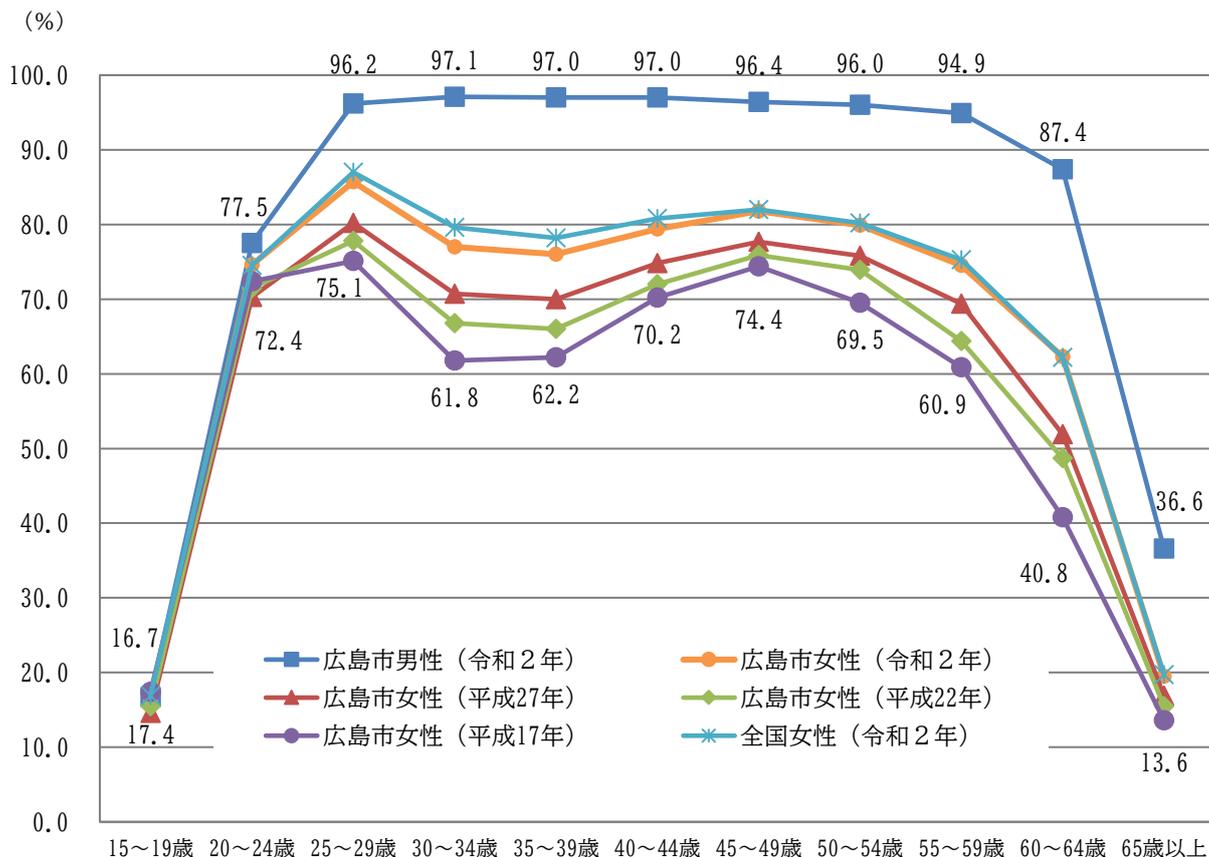
◆固定的性別役割分担意識



※「男は仕事、女は家庭」といった性別によって役割を固定する考え方に対する回答の割合

(15) 就労

◆年齢階層別の労働力率



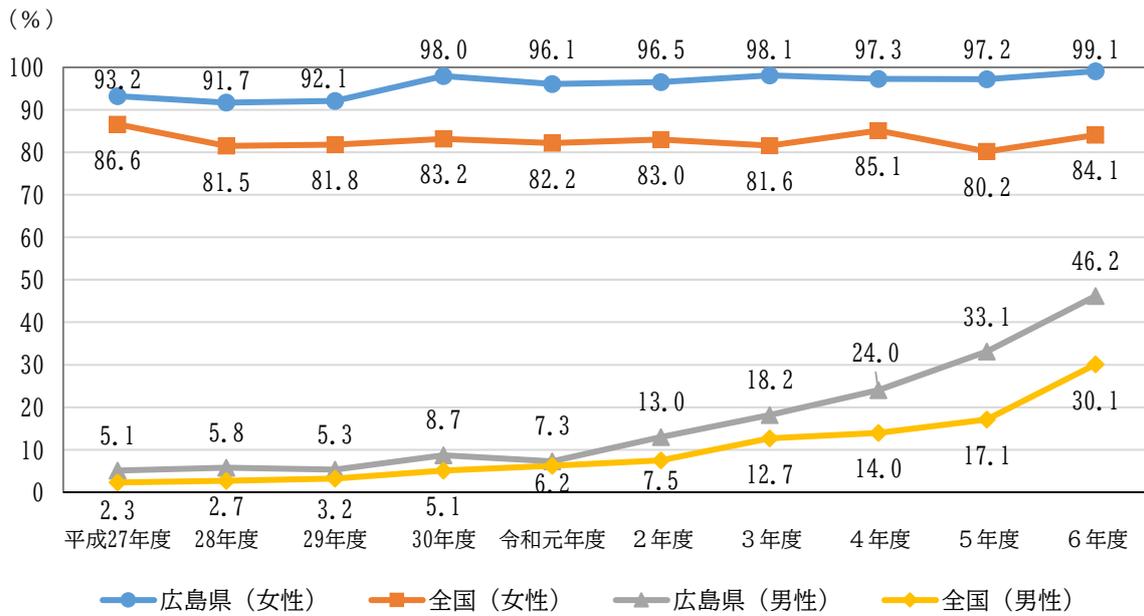
(%)

| 区分 | 15～19歳 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60～64歳 | 65歳以上 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 広島市男性 (令和2年) | 16.7 | 77.5 | 96.2 | 97.1 | 97.0 | 97.0 | 96.4 | 96.0 | 94.9 | 87.4 | 36.6 |
| 広島市女性 (令和2年) | 16.0 | 74.6 | 85.7 | 77.0 | 76.0 | 79.4 | 81.8 | 79.9 | 74.5 | 62.3 | 19.5 |
| 広島市女性 (平成27年) | 14.6 | 70.3 | 80.2 | 70.7 | 70.0 | 74.8 | 77.7 | 75.8 | 69.4 | 51.9 | 16.9 |
| 広島市女性 (平成22年) | 15.5 | 71.5 | 77.8 | 66.8 | 66.0 | 72.0 | 75.9 | 73.9 | 64.4 | 48.7 | 15.5 |
| 広島市女性 (平成17年) | 17.4 | 72.4 | 75.1 | 61.8 | 62.2 | 70.2 | 74.4 | 69.5 | 60.9 | 40.8 | 13.6 |
| 全国女性 (令和2年) | 16.9 | 74.5 | 87.0 | 79.6 | 78.2 | 80.8 | 82.0 | 80.2 | 75.3 | 62.2 | 19.7 |

(総務省 国勢調査)

※労働力率=「労働力人口」÷「15歳以上人口」

◆育児休業取得率（広島県）

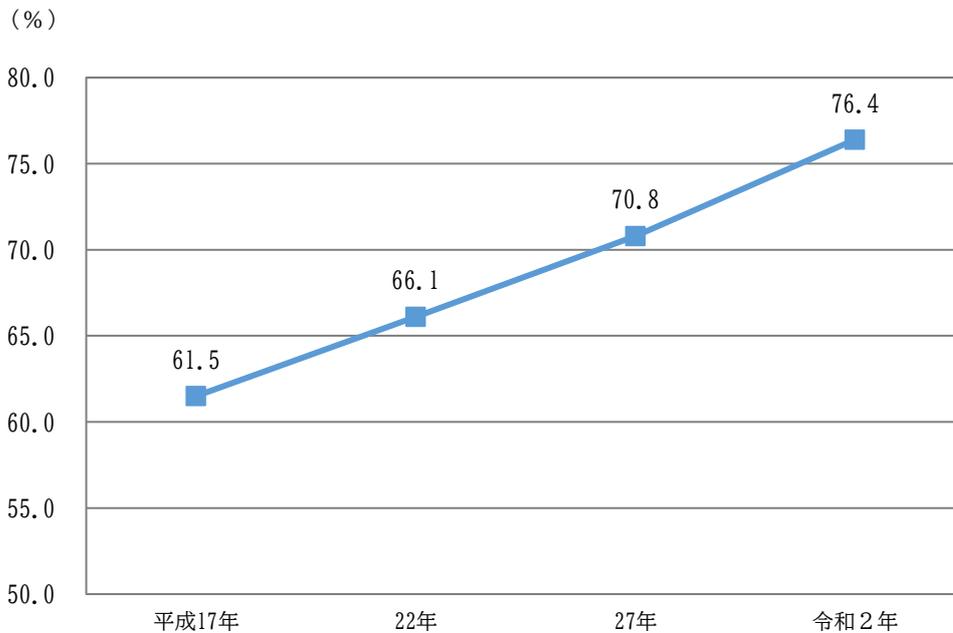


（広島県職場環境実態調査）

※育児休業取得率＝「育児休業取得者」÷「育児休業取得対象者」
 ※広島県内の本社・本店を有する事業所を対象に調査したもの
 ※年度は、調査公表年度

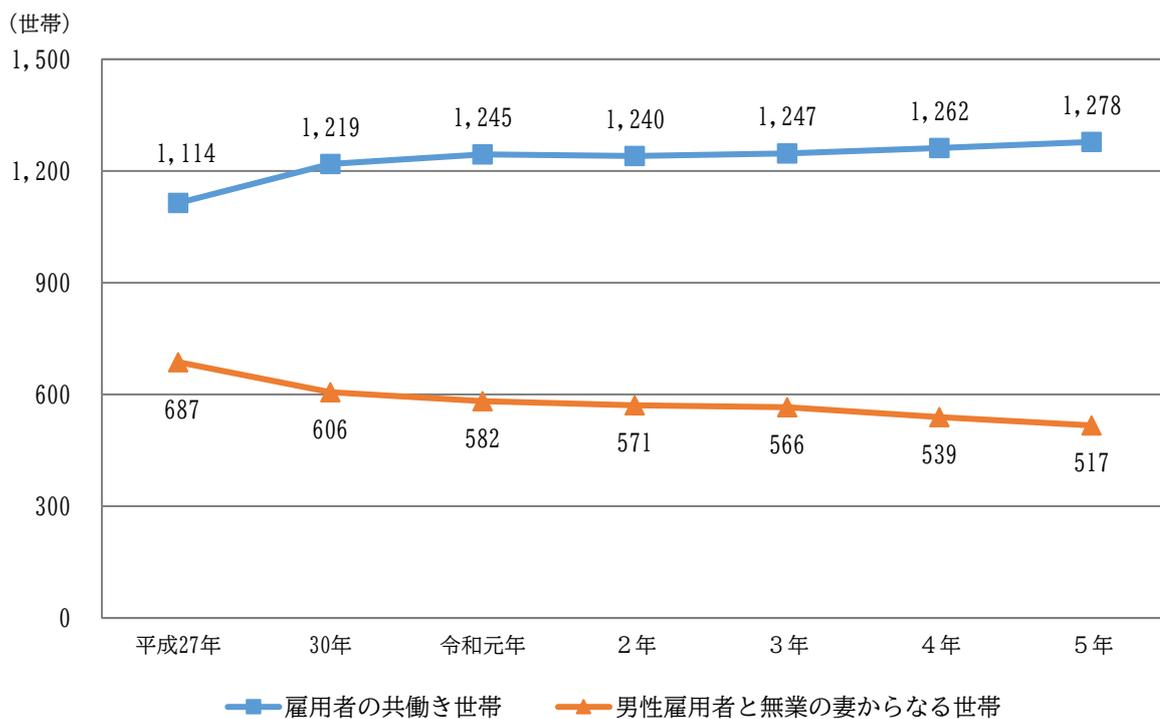
◆25～44歳の女性就業率（注）

注：25歳から44歳までの女性人口に占める就業者数の割合



（総務省 国勢調査）

◆共働き等世帯数（全国）



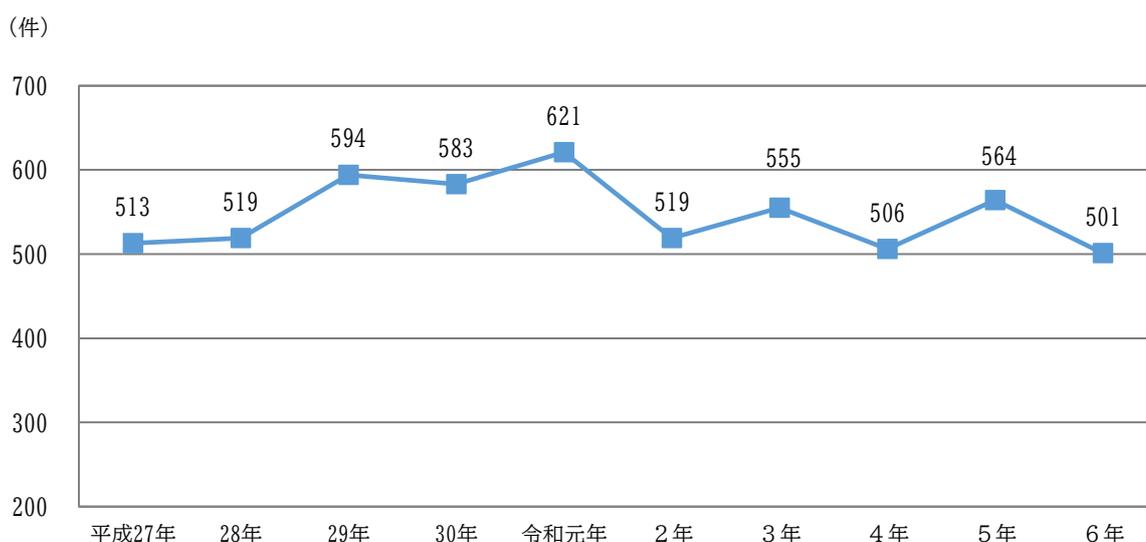
(総務省 労働力調査)

※「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、平成29年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び完全失業者）の世帯。平成30年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者（非労働力人口及び失業者）の世帯

※「雇者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者（非正規の職員・従業員を含む）の世帯

(16) 安全・安心なまちづくり

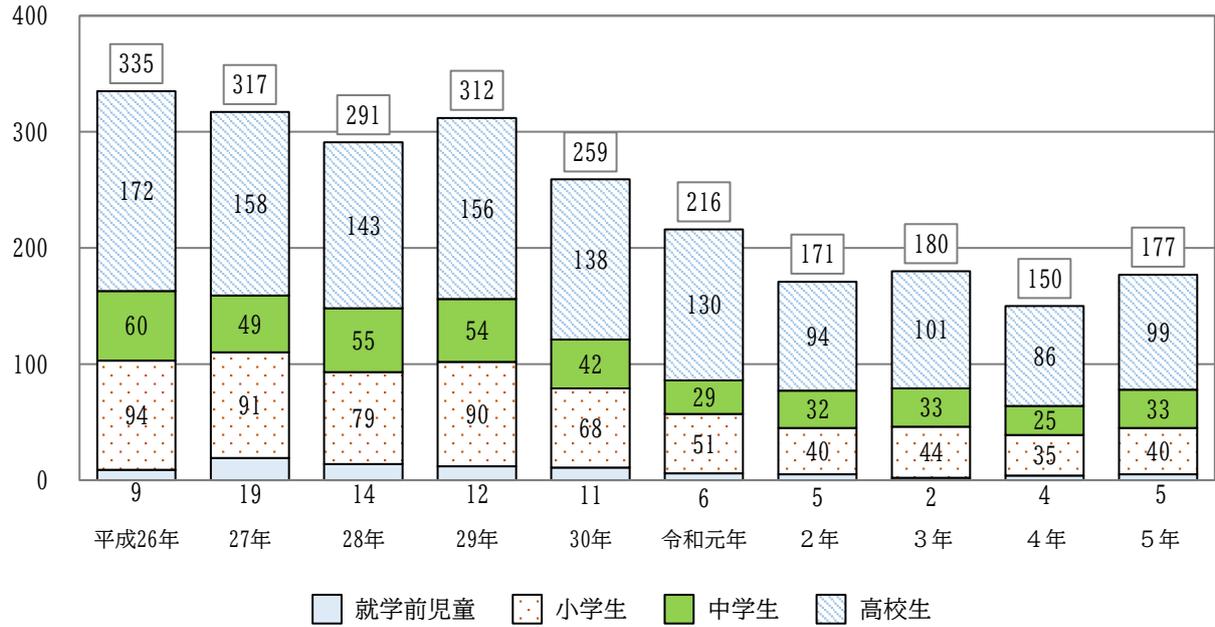
◆こどもを対象とした声かけ事案等



(広島県警察本部)

◆こどもの交通事故発生件数

(件)

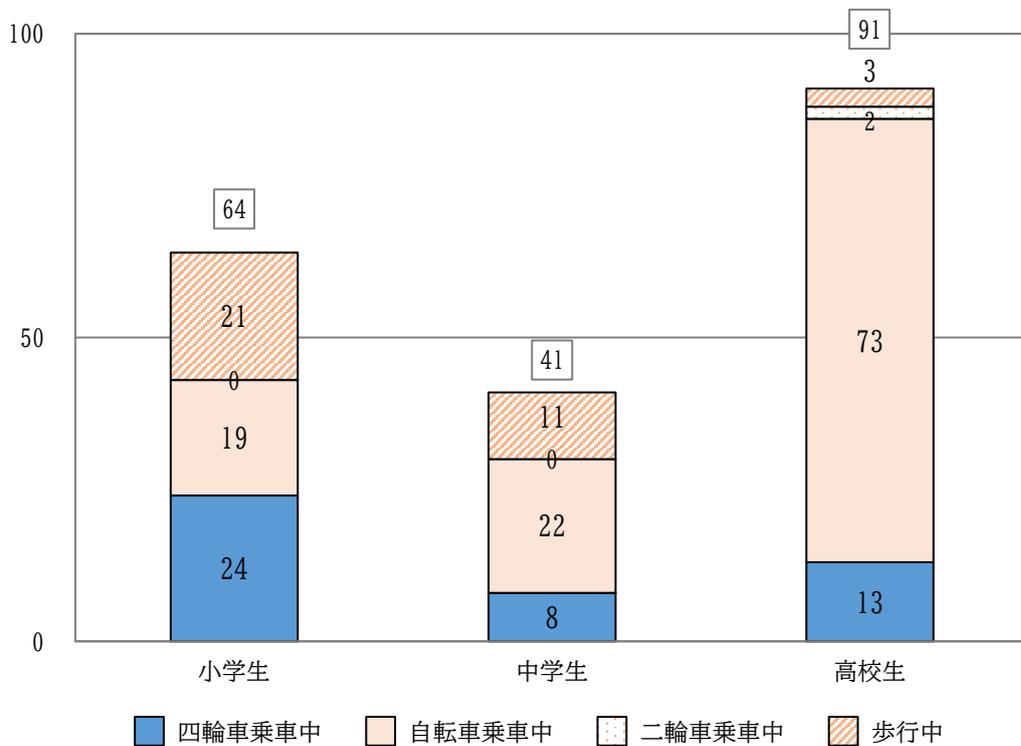


(広島県警察本部)

※広島市域で発生し、こどもが当事者となった交通事故件数

◆交通事故におけるこどもの負傷者数【令和5年】

(人)



(広島県警察本部)

「広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」及び「こどもアンケート」 報告書（概要版）

「広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の概要

- (1) 調査目的：子育て家庭の実態や子育て支援に関するニーズ等を把握し、「広島市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料とする。
- (2) 調査実施方法：郵送配付回収、無記名自記式
- (3) 調査時期：令和6年2月
- (4) 調査対象者：広島市内に居住する就学前児童（0～5歳）又は就学児童（6～11歳）のいる世帯
- (5) 抽出方法：住民基本台帳より、居住区及び令和5年4月1日現在の満年齢を基に区分し無作為抽出
- (6) 送付数：就学前児童のいる世帯：8,000世帯 就学児童のいる世帯：5,500世帯
- (7) 調査結果の表示方法：○ 表やグラフ中の「n」は、回答総数を表している。
○ 比率（%）は小数点以下第2位を四捨五入で算出しているため、合計が合わないことや100%にならないことがある。
○ 表やグラフ、文章において、回答の選択肢等の表現を一部省略している場合がある。
○ グラフでは見やすさを優先し、「0.0%」の数値表示を省略しているものがある。
- (8) 送付数及び回収数：

◆ 就学前児童のいる世帯

| 調査区分 (こどもの年齢) | 送付数 | 回収数 | 回収率 |
|------------------|---------|---------|-------|
| 乳児（0歳） | 2,500世帯 | 1,110世帯 | 44.4% |
| 幼児（1～2歳） | 2,700世帯 | 1,091世帯 | 40.4% |
| 幼児（3～5歳） | 2,800世帯 | 1,180世帯 | 42.1% |
| 不明 | - | 20世帯 | - |
| 計 | 8,000世帯 | 3,401世帯 | 42.5% |

◆ 就学児童のいる世帯

| 調査区分 (こどもの年齢) | 送付数 | 回収数 | 回収率 |
|-------------------|---------|---------|-------|
| 小学校低学年 （6～8歳） | 2,700世帯 | 740世帯 | 27.4% |
| 小学校高学年 （9～11歳） | 2,800世帯 | 846世帯 | 30.2% |
| 不明 | - | 34世帯 | - |
| 計 | 5,500世帯 | 1,620世帯 | 29.5% |

| | | | |
|----|----------|---------|-------|
| 全体 | 13,500世帯 | 5,021世帯 | 37.2% |
|----|----------|---------|-------|

令和6年9月

広島市こども未来局

「広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の調査結果

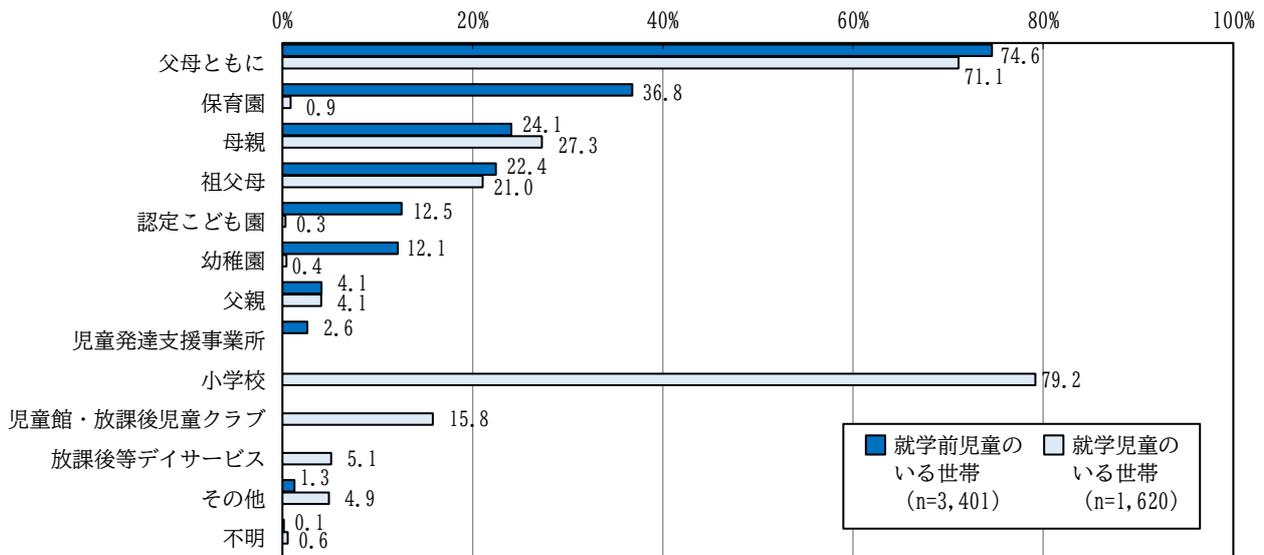
1 こどもの育ちをめぐる環境、保護者の就労状況について（対象：全世帯）

(1) こどもの育ちをめぐる環境

子育てや教育に日常的に関わっている人や施設について、就学前児童のいる世帯では、「父母ともに」との回答が最も多く74.6%、次いで「保育園」が36.8%となっている。就学児童のいる世帯では、「小学校」との回答が最も多く79.2%、次いで「父母ともに」が71.1%となっている。

また、子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所について、「いる又はある」との回答が、就学前児童のいる世帯で88.6%、就学児童のいる世帯で88.3%となっており、相談先は、「親・兄弟・姉妹等の親族」との回答が最も多く、次いで「友人や知人」となっている。

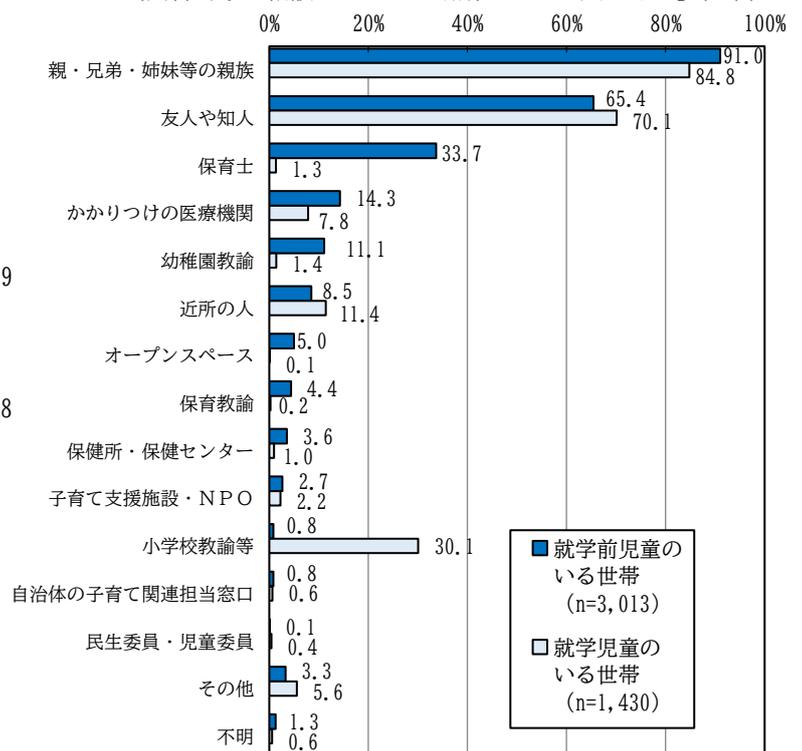
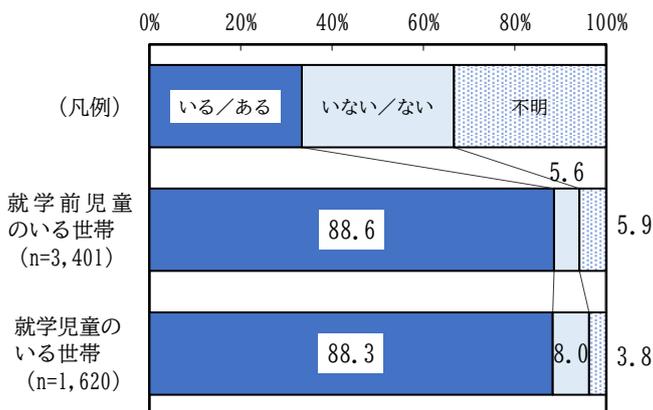
Q1 子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（どの施設）ですか。（複数回答）



Q2 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

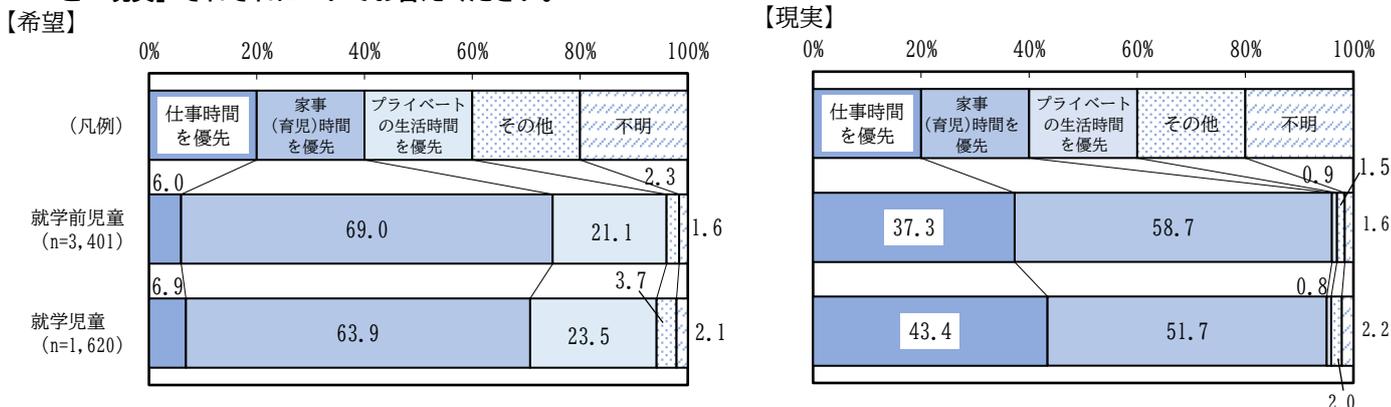
Q3 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、どなた（どこ）ですか。（複数回答）

（回答対象：相談できる人・場所が「いる又はある」世帯）



ワーク・ライフ・バランスについて、生活の中での「仕事時間」、「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度は、就学前児童のいる世帯、就学児童のいる世帯ともに、「希望」も「現実」も、「家事（育児）時間を優先」との回答が最も多くなっている。一方、「仕事時間」については、「希望」は6%台であるのに対し「現実」は40%前後、「プライベートの生活時間」については、「希望」は20%台であるのに対し、「現実」は1%未満となっており、ギャップが大きくなっている。

Q4 あなたの生活の中での「仕事時間」、「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」と「現実」それぞれについてお答えください。



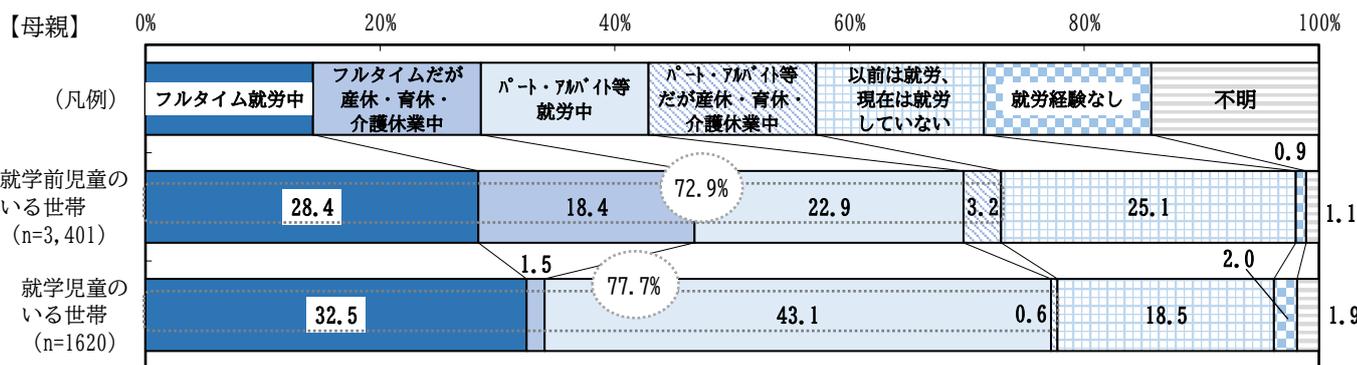
(2) 保護者の就労状況

母親の就労状況について、「フルタイムで就労中」又は「パート・アルバイト等で就労中」との回答（いずれも育休等で休業中を含む）が、就学前児童のいる世帯で72.9%、就学児童のいる世帯で77.7%となっている。

また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」又は「就労経験なし」と回答した母親の今後の就労希望については、「一番下のこどもが一定年齢になったところに就労したい」又は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」との回答が、就学前児童のいる世帯で68.6%、就学児童のいる世帯で59.2%となっている。

「一番下のこどもが一定年齢になったところに就労したい」と回答した母親の就労希望時期については、就学前児童のいる世帯では「こどもが2~3歳になったところ」との回答が最も多く37.8%、就学児童のいる世帯では「こどもが6~7歳になったところ」との回答が最も多く31.4%となっている。

Q5 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

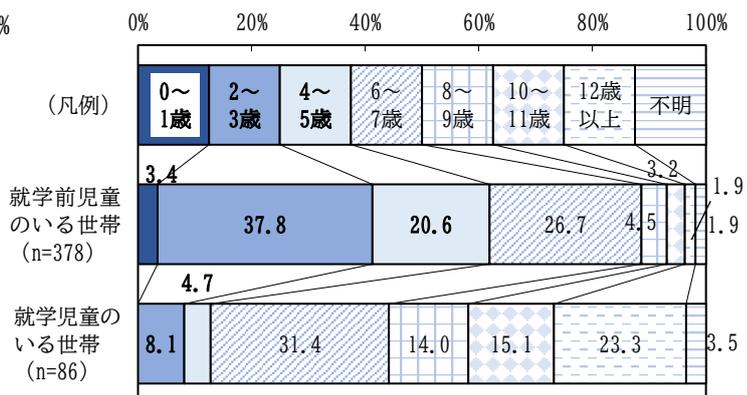
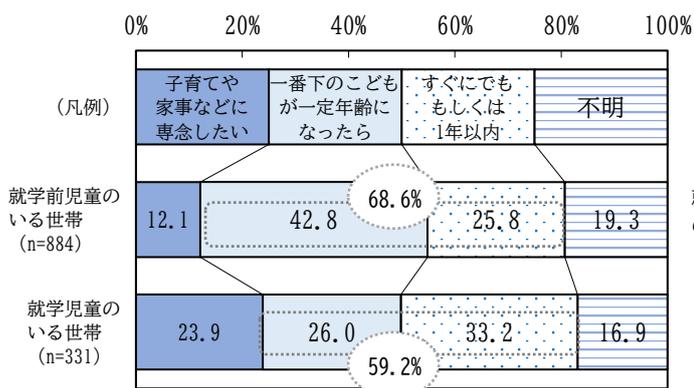


Q6 就労したいという希望はありますか。

（回答対象：現在就労していない母親）

Q7 一番下のこどもが何歳になったところに就労したいですか。

（回答対象：一番下のこどもが一定年齢になったところに就労したい母親）



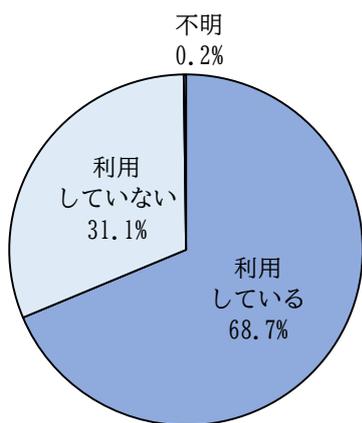
2 定期的な教育・保育事業について（対象：就学前児童のいる世帯）

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について、就学前児童のいる世帯では、「現在、定期的な教育・保育事業を利用している」との回答が68.7%となっており、そのうち利用している事業は、「認可保育園」との回答が最も多く65.8%、次いで「幼稚園」が24.1%となっている。

また、現在の利用の有無にかかわらず、定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業について、第1希望から第8希望までの合計は、現に利用している事業と同様に「認可保育園」との回答が最も多く82.0%、次いで「幼稚園」が68.6%となっている。

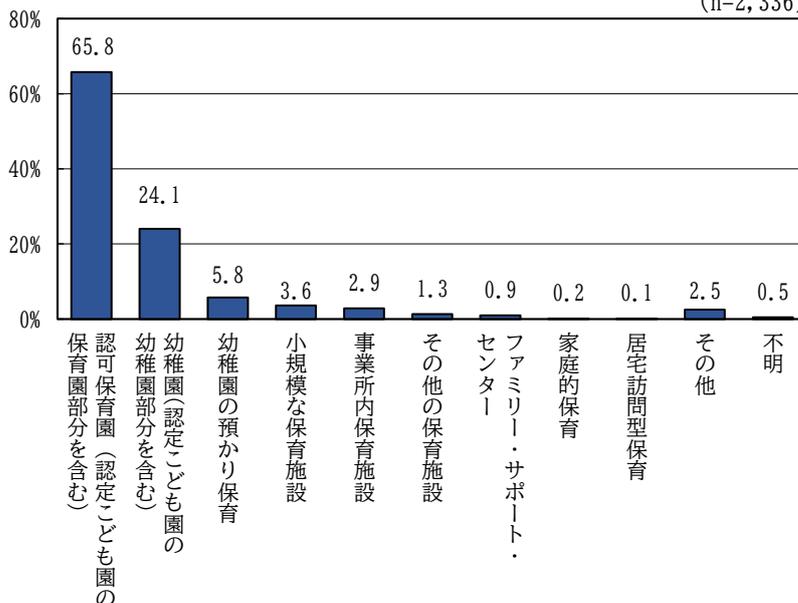
Q8 現在、幼稚園や認可保育園などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。

(n=3,401)



Q9 現在、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。（複数回答）（回答対象：教育・保育事業を利用している世帯）

(n=2,336)



Q10 現在、利用している、していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業について、利用したい順にお答えください。

(n=3,401)

| | 認可保育園（認定こども園部分を含む） | 幼稚園（認定こども園の幼稚園部分を含む） | 幼稚園の預かり保育 | 小規模な保育施設 | 事業所内保育施設 | 家庭的保育 | ファミリー・サポート・センター | その他の保育施設 | 居宅訪問型保育 | その他 |
|------|--------------------|----------------------|-----------|----------|----------|-------|-----------------|----------|---------|------|
| 第1希望 | 55.9% | 31.7% | 2.9% | 2.6% | 1.9% | 0.4% | 0.4% | 0.4% | 0.3% | 0.6% |
| 第2希望 | 11.5% | 17.2% | 24.1% | 19.7% | 4.0% | 0.9% | 1.6% | 0.7% | 0.5% | 0.2% |
| 第3希望 | 12.0% | 10.7% | 13.4% | 10.8% | 6.5% | 2.8% | 2.6% | 1.5% | 1.0% | 0.2% |
| 第4希望 | 1.6% | 5.4% | 8.6% | 12.2% | 5.8% | 2.7% | 2.4% | 1.2% | 1.1% | 0.1% |
| 第5希望 | 0.4% | 2.2% | 3.3% | 3.6% | 7.4% | 5.0% | 1.9% | 1.9% | 1.5% | 0.1% |
| 第6希望 | 0.2% | 0.6% | 1.1% | 0.6% | 3.3% | 4.9% | 2.4% | 3.5% | 2.4% | 0.1% |
| 第7希望 | 0.3% | 0.3% | 0.7% | 0.2% | 1.1% | 2.1% | 3.2% | 4.0% | 3.4% | 0.0% |
| 第8希望 | 0.1% | 0.4% | 0.3% | 0.1% | 0.4% | 1.1% | 3.7% | 2.8% | 4.5% | 0.1% |
| 合計 | 82.0% | 68.6% | 54.2% | 50.0% | 30.3% | 20.0% | 18.3% | 16.0% | 14.6% | 1.3% |

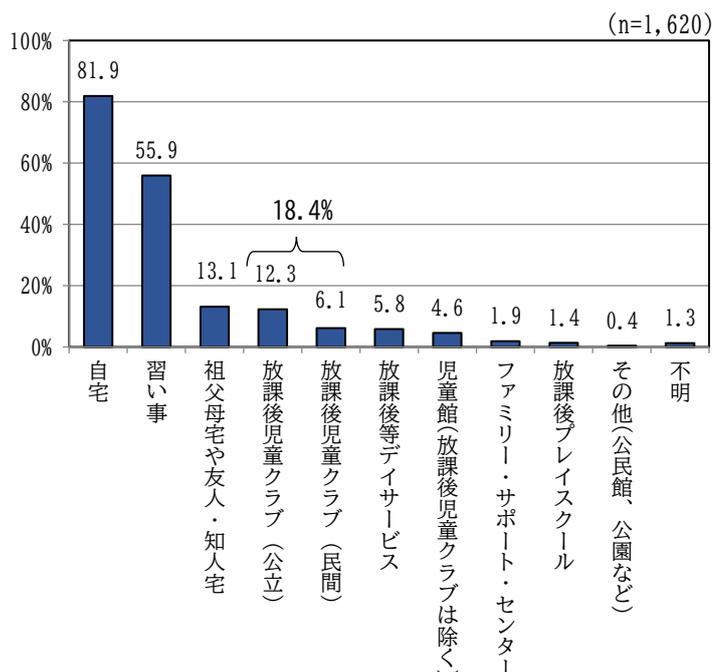
3 放課後の過ごし方、病児・病後児保育、一時預かり等について

(1) 放課後の過ごし方 (対象：就学児童のいる世帯)

就学児童が放課後の時間を過ごしている場所について、「自宅」との回答が最も多く 81.9%、次いで「習い事」が 55.9%となっており、「公立の放課後児童クラブ」は 12.3%、「民間の放課後児童クラブ」は 6.1%で、放課後児童クラブを利用している就学児童は合計で 18.4%となっている。

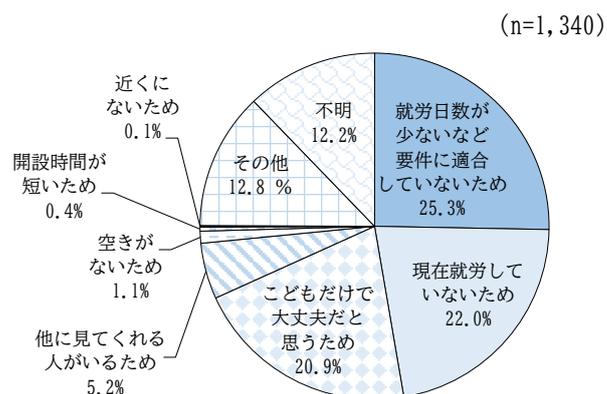
放課後児童クラブを利用していない理由は、「就労日数が少ないなど要件に適合していないため」との回答が最も多く 25.3%、次いで「現在、保護者が就労していないため」が 22.0%となっている。

Q11 現在、こどもは放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。(複数回答)



Q12 現在、放課後児童クラブを利用していない理由について、最もあてはまる理由をお答えください。

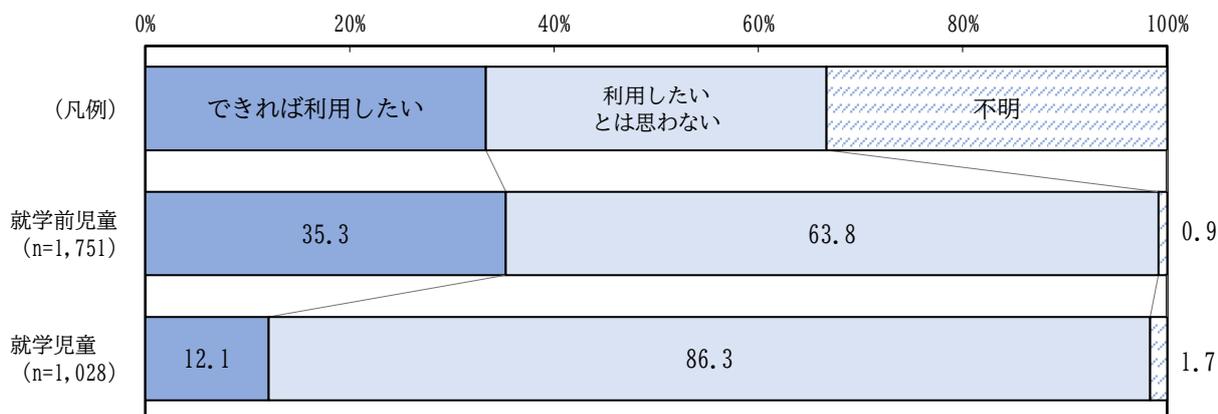
(回答対象：放課後児童クラブを利用していない世帯)



(2) 病児・病後児保育 (対象：平日の定期的な教育・保育事業を利用している就学前児童のいる世帯と、就学児童のいる世帯)

こどもが病気やケガの際に父親又は母親が休んで看護したことがある世帯のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったことがあるとの回答は、就学前児童のいる世帯で 35.3%、就学児童のいる世帯で 12.1%となっている。

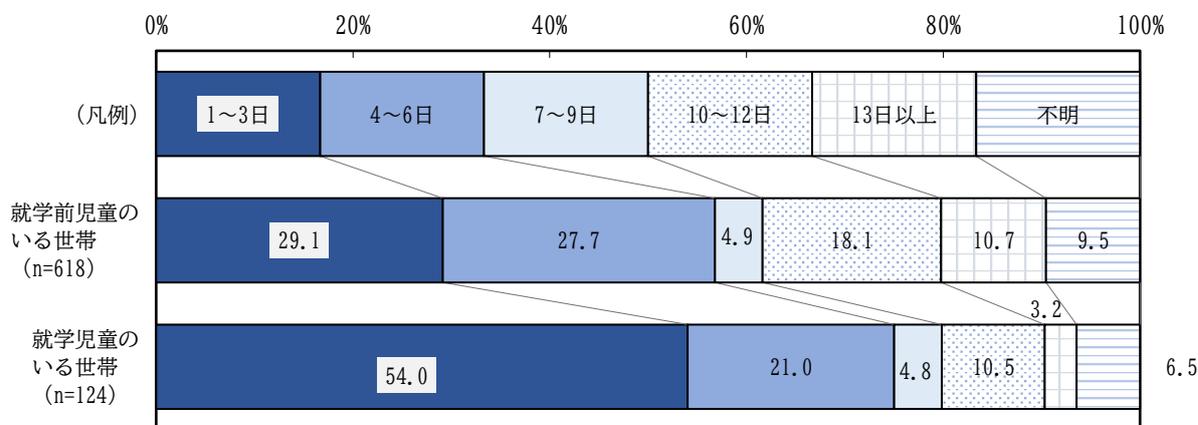
Q13 こどもが病気やケガの際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったことはありますか。(回答対象：父親又は母親が休んで看護した世帯)



病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数（年間）について、就学前児童のいる世帯、就学児童のいる世帯ともに「1～3日」との回答が最も多く、それぞれ29.1%、54.0%となっており、次いで「4～6日」となっている。

Q14 病児・病後児のための保育施設等を1年間に何日利用したいですか。

（回答対象：父親又は母親が休んで看護した世帯のうち病児・病後児のための保育施設等の利用希望世帯）

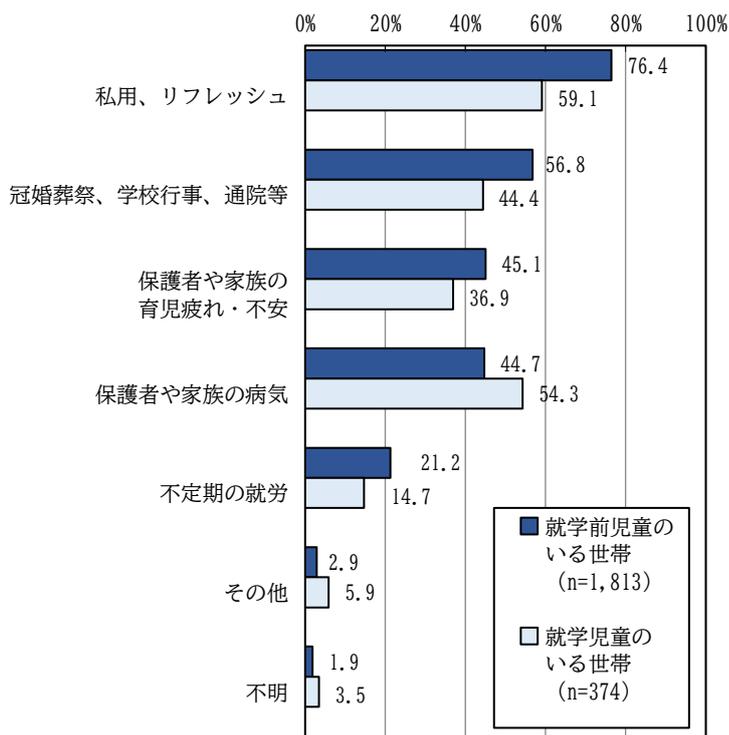
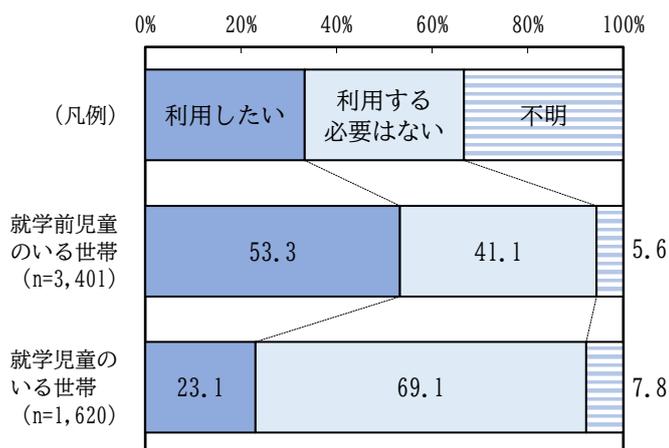


(3) 一時預かり等（対象：全世帯）

私用、こどもや親の通院、不定期の就労等による一時預かり等について、「利用したい」との回答が就学前児童のいる世帯で53.3%、就学児童のいる世帯で23.1%となっている。利用の目的は、就学前児童のいる世帯、就学児童のいる世帯ともに「私用、リフレッシュ」との回答が最も多く、それぞれ76.4%、59.1%となっており、次いで、就学前児童のいる世帯では「冠婚葬祭、学校行事、通院等」が56.8%、就学児童のいる世帯では「保護者や家族の病気」が54.3%となっている。

Q15 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。

Q16 利用の目的は何ですか。（複数回答）
（回答対象：一時預かり等の利用希望世帯）



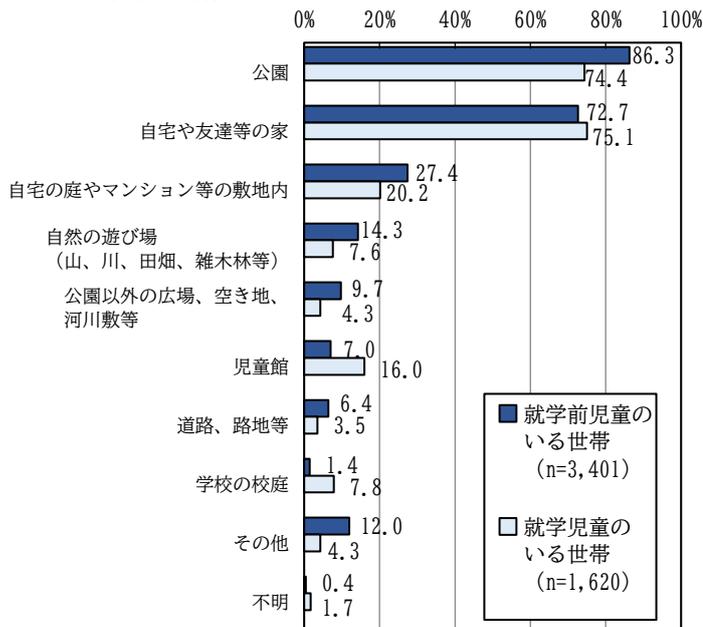
4 こどもの遊び環境、地域子育て支援拠点事業について

(1) こどもの遊び環境 (対象：全世帯)

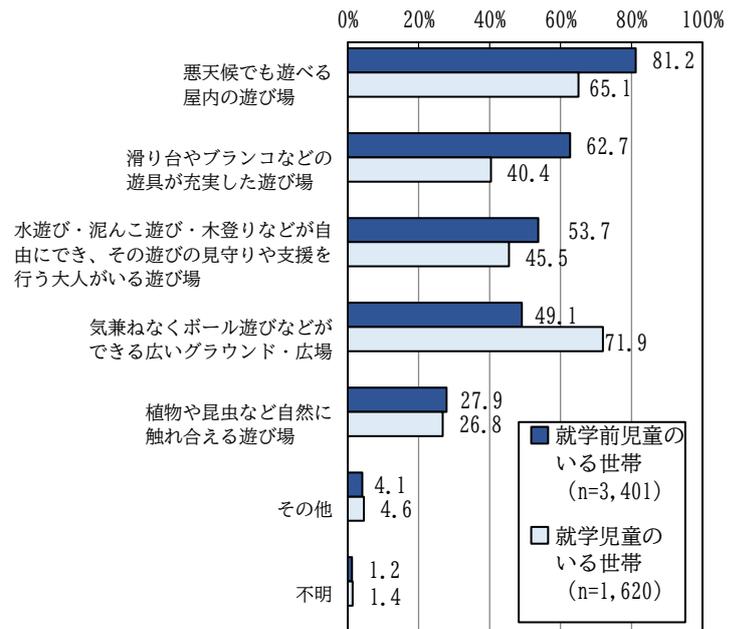
こどもの日常的な遊び場について、就学前児童のいる世帯では「公園」との回答が最も多く 86.3%、次いで「自宅や友達等の家」が 72.7%であり、就学児童のいる世帯では「自宅や友達等の家」との回答が最も多く 75.1%、次いで「公園」が 74.4%となっている。

また、どんな遊び場があればいいと思うかについて、就学前児童のいる世帯では「悪天候でも遊べる屋内の遊び場」との回答が最も多く 81.2%、次いで「滑り台やブランコなどの遊具が充実した遊び場」が 62.7%、就学児童のいる世帯では「気兼ねなくボール遊びなどができる広いグラウンド・広場」との回答が最も多く 71.9%、次いで「悪天候でも遊べる屋内の遊び場」が 65.1%となっている。

Q17 日常的なこどもの遊び場は主にどこですか。(複数回答)



Q18 どんな遊び場があればいいと思いますか。(3つまで回答)



(2) 地域子育て支援拠点事業 (対象：就学前児童のいる世帯)

地域子育て支援拠点事業の常設オープンスペースについて、「利用している」との回答が、0歳児のいる世帯で 32.2%、1歳児のいる世帯で 18.6%、2歳児のいる世帯で 9.2%となっている。今後の意向として、「利用していないが、利用したい」と「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」との回答の合計は、0歳児のいる世帯で 48.2%、1歳児のいる世帯で 42.8%、2歳児のいる世帯で 31.8%となっている。

Q19 現在、常設オープンスペース (子育て中の親子がいつでも気軽に利用することができ、自由に交流できる場) を利用していますか。

(n=3,401)

| | 利用している | 利用していない | 不明 |
|------|--------|---------|------|
| 全体 | 15.9% | 83.1% | 1.1% |
| 0歳 | 32.2% | 66.2% | 1.6% |
| 1歳 | 18.6% | 80.7% | 0.7% |
| 2歳 | 9.2% | 89.6% | 1.1% |
| 3歳以上 | 2.3% | 97.0% | 0.7% |
| 不明 | 15.0% | 85.0% | 0.0% |

Q20 今は利用していないができれば利用したい、又は、利用しているが利用日数を増やしたいと思いますか。

(n=3,401)

| | 利用していないが、利用できる日数を増やしたい | すでに利用しているが利用日数を増やしたい | 利用していないが、利用できる日数を増やしたい | 不明 |
|------|------------------------|----------------------|------------------------|-------|
| 全体 | 28.5% | 7.9% | 55.9% | 7.6% |
| 0歳 | 48.2% | 31.6% | 16.6% | 45.7% |
| 1歳 | 42.8% | 33.2% | 9.6% | 50.0% |
| 2歳 | 27.7% | 27.7% | 4.1% | 60.6% |
| 3歳以上 | 31.8% | 23.6% | 0.8% | 66.4% |
| 不明 | 35.0% | 0.0% | 45.0% | 20.0% |

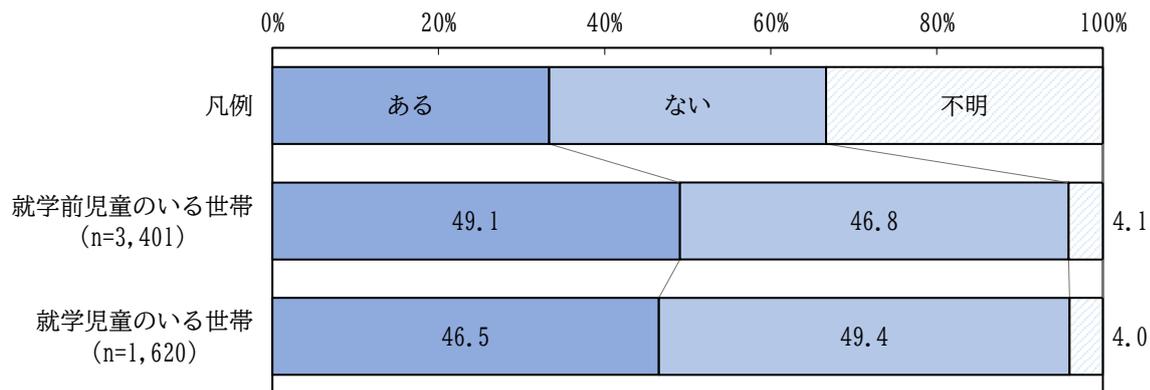
5 子育てに関する悩みや精神的負担等について（対象：全世帯）

(1) 子育てに関する悩みや不安感等

子育てに関し、悩んでいることや困っていること、不安に感じていることの有無について、就学前児童のいる世帯では「ある」との回答が49.1%、「ない」との回答が46.8%、就学児童のいる世帯では「ある」との回答が46.5%、「ない」との回答が49.4%となっており、「ある」と「ない」がおおむね半数ずつとなっている。

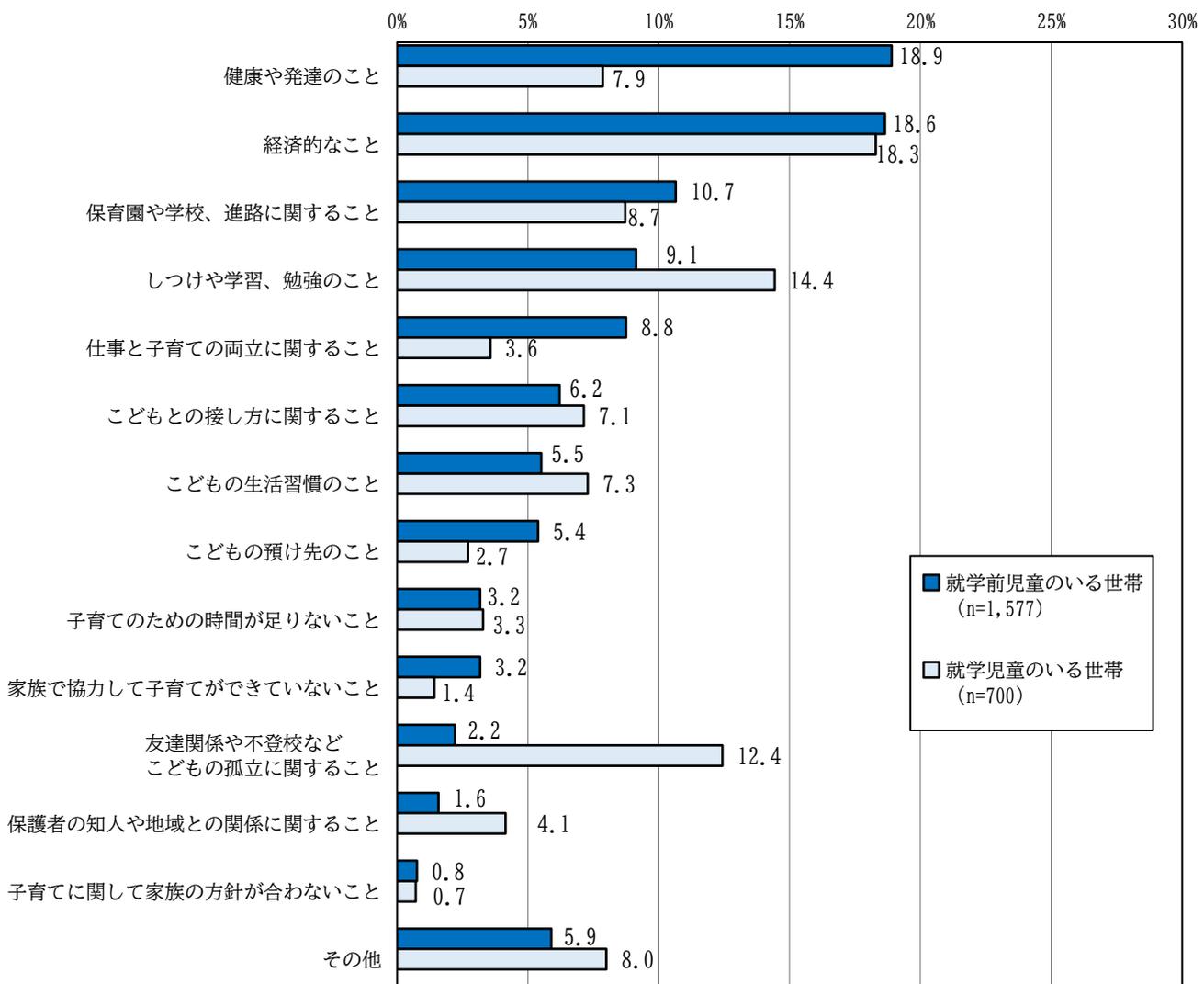
子育てに関する悩み等の内容について、就学前児童のいる世帯では「健康や発達のこと」との回答が最も多く18.9%、次いで「経済的なこと」が18.6%、就学児童のいる世帯では「経済的なこと」との回答が最も多く18.3%、次いで「しつけや学習、勉強のこと」が14.4%となっている。

Q21 子育てについて（教育も含む）悩んでいることや困っていること、不安に感じていることがありますか。



Q22 子育てに関する悩み等の内容（自由記述）

（回答対象：子育てに悩み等がある世帯）

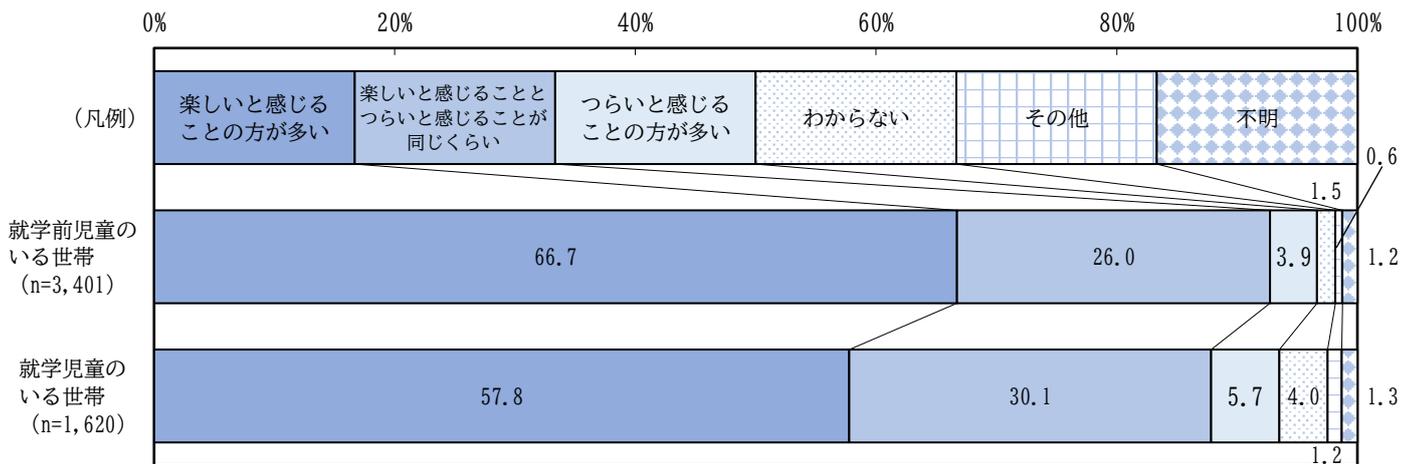


(2) 子育ての精神的負担

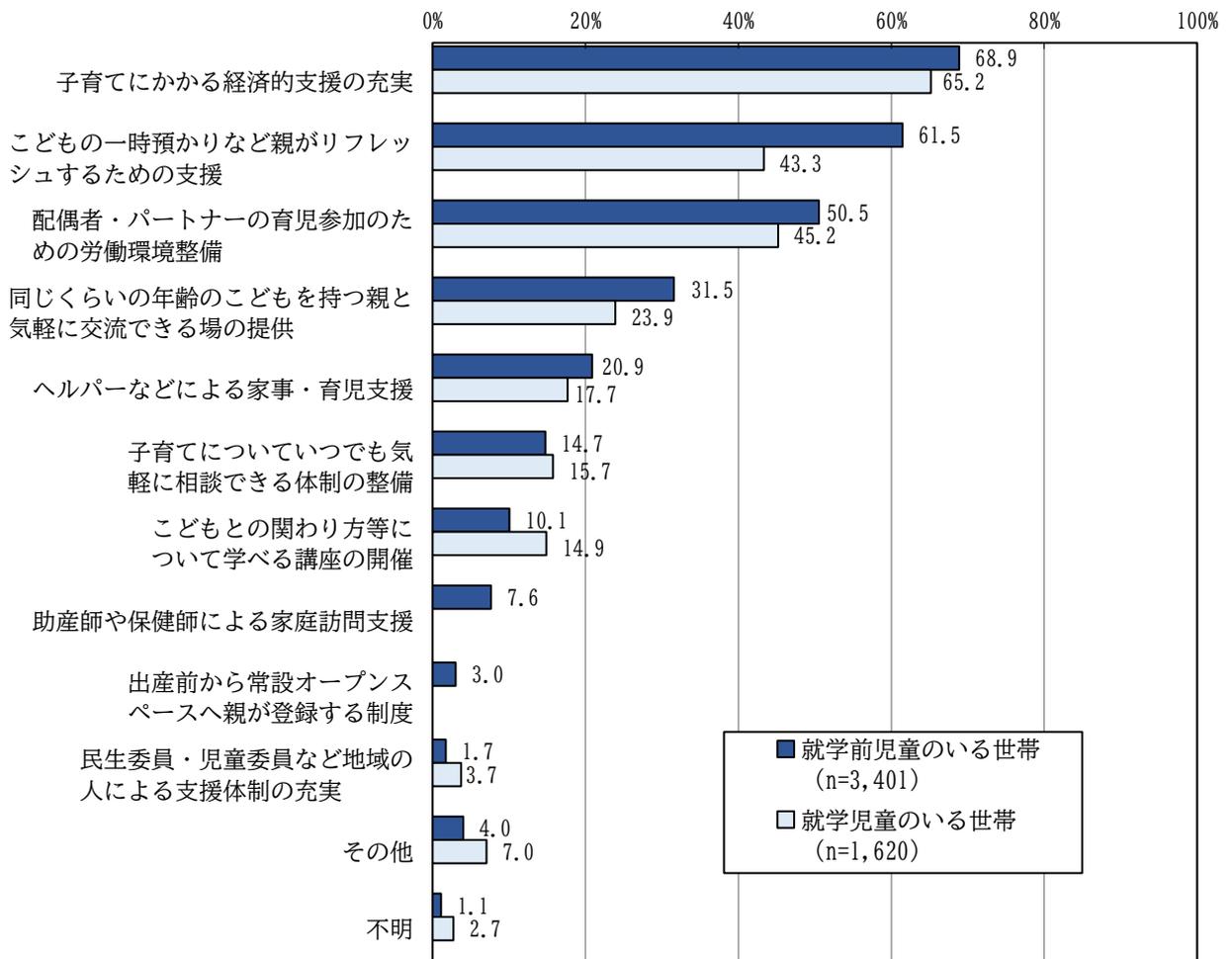
子育てを楽しんでいると感じることが多いか、つらいと感じることが多いかについて、就学前児童のいる世帯、就学児童のいる世帯ともに50%以上が子育てを「楽しいと感じることが多い」と回答しているが、「つらいと感じることが多い」との回答も一定数あり、就学前児童のいる世帯で3.9%、就学児童のいる世帯で5.7%となっている。

子育ての精神的負担を減らすために必要な支援について、就学前児童のいる世帯、就学児童のいる世帯ともに「子育てにかかる経済的支援の充実」との回答が最も多く65%超となっており、次いで、就学前児童のいる世帯では「こどもの一時預かりなど親がリフレッシュするための支援」が61.5%、就学児童のいる世帯では「配偶者・パートナーの育児参加のための労働環境整備」が45.2%となっている。

Q23 子育てを楽しんでいると感じることが多いですか、つらいと感じることが多いですか。



Q24 子育ての精神的負担を減らすために、どのような支援が必要ですか。(3つまで回答)



「こどもアンケート」の概要

- (1) 調査目的 : こどもの悩みごとの相談状況、居場所の状況、国や市に意見を言いやすい手段や方法等を把握し、「広島市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料とする。
- (2) 調査実施方法 : 郵送配付回収、無記名自記式
- (3) 調査時期 : 令和6年2月
- (4) 調査対象者 : 広島市内に居住する小学生とその兄弟姉妹(小学生以上18歳未満)
- (5) 送付数 : 就学児童(小学生)のいる世帯5,500世帯(各世帯3通、計16,500通)
 「広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の対象世帯のうち、就学児童のいる世帯に「こどもアンケート」の調査票3通を同封
- (6) 調査結果の表示方法 : ○ 表やグラフ中の「n」は、回答総数を表している。
 ○ 比率(%)は小数点以下第2位を四捨五入で算出しているため、合計が100%にならないことがある。
 ○ 表やグラフ、文章において、回答の選択肢等の表現を一部省略している場合がある。
- (7) 送付数及び回収数 :

| 調査区分 (こどもの年齢) | 送付数 | 回収数 | 回収率 |
|-------------------|----------------------|--------|-------|
| 小学校低学年 (6~8歳) | 16,500通 (5,500世帯) | 630通 | - |
| 小学校高学年 (9~11歳) | | 977通 | - |
| 中学生 (12~14歳) | | 566通 | - |
| 高校生 (15~17歳) | | 143通 | - |
| 不明 | | 51通 | - |
| 計 | 16,500通 | 2,367通 | 14.3% |

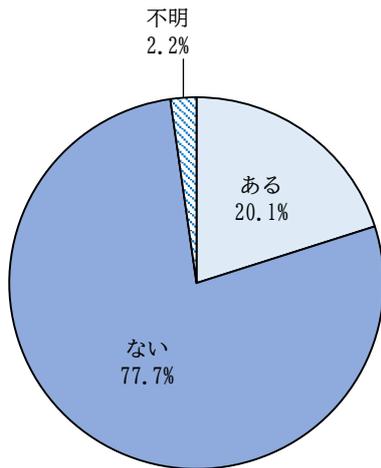
「こどもアンケート」の調査結果

1 悩みごと等の相談状況について

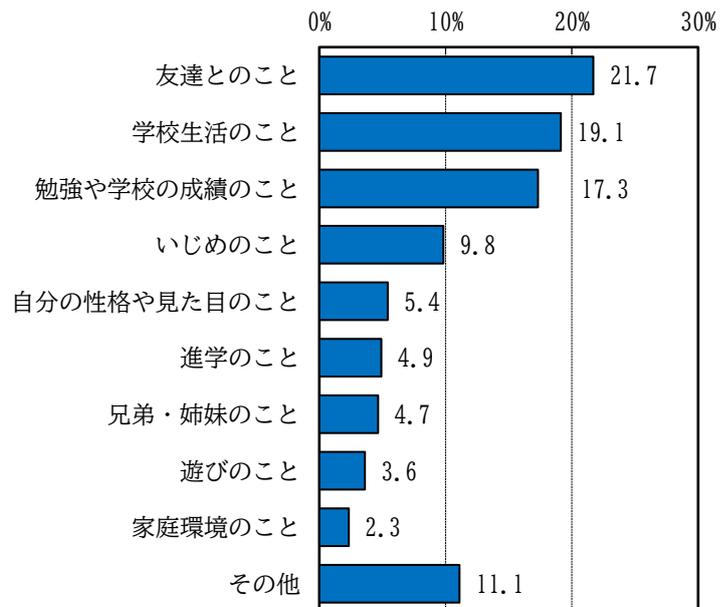
(1) 悩みごと等の有無

悩んでいることや困っていることの有無について、「ある」との回答が20.1%、「ない」との回答が77.7%となっている。悩んでいることや困っていることの内容は、「友達とのこと」が最も多く21.7%、次いで「学校生活のこと」が19.1%、「勉強や学校の成績のこと」が17.3%となっている。

Q1 悩んでいることや困っていることがありますか。(n=2,367)



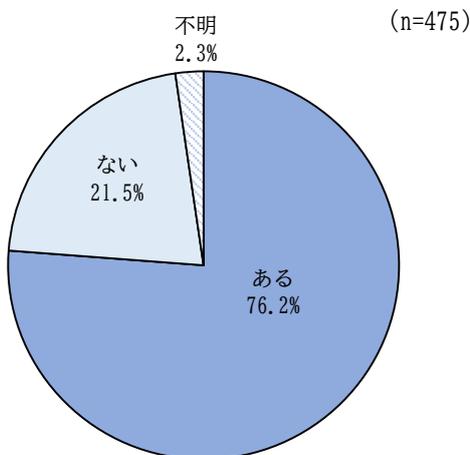
Q2 悩んでいることや困っていることは、どんなことですか。(自由記述) (回答対象：悩みごと等があるこども) (n=387)



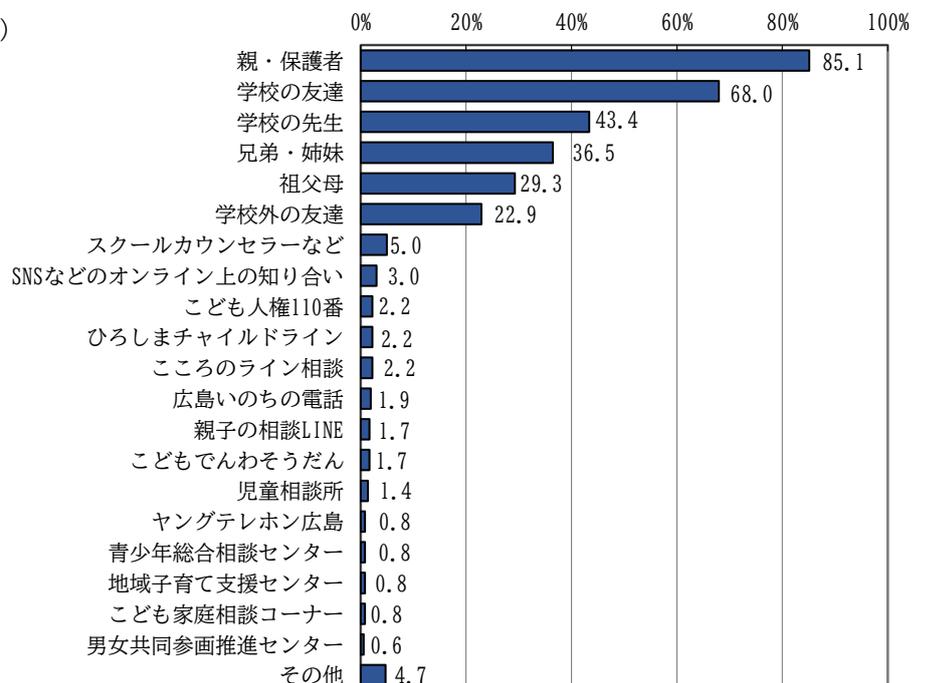
(2) 相談先の有無について

悩みごと等があると回答したこどもの「気軽になんでも話せて相談できる人や場所の有無」について、「ある」との回答が76.2%、「ない」との回答が21.5%となっており、具体的な相談先について、「親・保護者」との回答が最も多く85.1%、次いで「学校の友達」が68.0%、「学校の先生」が43.4%となっている。

Q3 気軽になんでも話せて、相談ができる人や場所はありますか。(回答対象：悩みごと等があるこども) (n=475)



Q4 気軽になんでも話せて相談できる人や場所はどこですか。(複数回答) (回答対象：気軽になんでも話せて相談できる人や場所があるこども) (n=362)

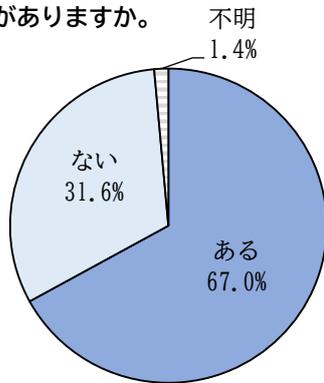


2 家や学校以外の居場所について

家や学校以外の居場所の有無について、「ある」との回答が67.0%、「ない」との回答が31.6%となっており、その内訳を見ると、居場所があると回答したこどもは中学生で最も多く、69.6%となっている。

Q5 家や学校以外で「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。

(n=2,367)



(内訳)

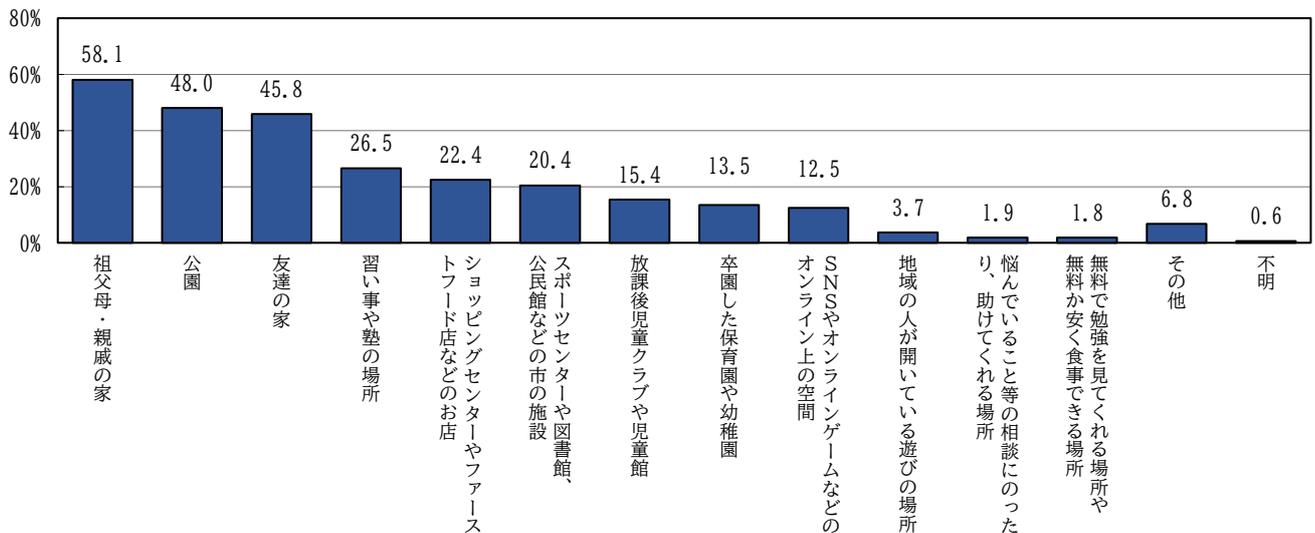
| | ある | ない | 不明 |
|--------|-------|-------|------|
| 全体 | 67.0% | 31.6% | 1.4% |
| 小学校低学年 | 67.8% | 30.0% | 2.2% |
| 小学校高学年 | 66.4% | 32.5% | 1.0% |
| 中学生 | 69.6% | 29.3% | 1.1% |
| 高校生 | 60.8% | 39.2% | 0.0% |
| 不明 | 56.9% | 35.3% | 7.8% |

家や学校以外で居場所だと感じている場所について、「祖父母・親戚の家」との回答が最も多く58.1%となっており、次いで「公園」が48.0%となっている。その内訳を見ると、いずれの年齢区分でも「祖父母・親戚の家」との回答が最も多く、次いで、小学校低学年と高学年では「公園」との回答がそれぞれ55.0%と52.5%、中学生では「友達の家」が43.7%、高校生では「ショッピングセンターやファーストフード店などのお店」が37.9%と多くなっている。

Q6 家や学校以外で居場所だと感じている場所はどんな場所ですか。(複数回答)

(回答対象：家や学校以外で「ここに居たい」と感じる居場所があるこども)

(n=1,586)



(内訳)

| | 祖父母・親戚の家 | 公園 | 友達の家 | 習い事や塾の場所 | ショッピングセンターやファーストフード店などのお店 | スポーツセンターや図書館、公民館などの市の施設 | 放課後児童クラブや児童館 | 卒園した保育園や幼稚園 | SNSやオンラインゲームなどのオンライン上の空間 | 地域の人が開いている遊びの場所 | 悩んでいること等の相談にのったり、助けてくれる場所 | 無料で勉強を見られる場所や料が安く食事できる場所 | その他 | 不明 |
|--------|----------|-------|-------|----------|---------------------------|-------------------------|--------------|-------------|--------------------------|-----------------|---------------------------|--------------------------|-------|------|
| 全体 | 58.1% | 48.0% | 45.8% | 26.5% | 22.4% | 20.4% | 15.4% | 13.5% | 12.5% | 3.7% | 1.9% | 1.8% | 6.8% | 0.6% |
| 小学校低学年 | 59.7% | 55.0% | 42.9% | 25.3% | 19.4% | 21.1% | 29.5% | 26.0% | 2.3% | 4.7% | 2.3% | 2.1% | 6.1% | 0.7% |
| 小学校高学年 | 60.9% | 52.5% | 50.2% | 26.8% | 18.6% | 19.1% | 13.9% | 12.3% | 10.0% | 4.9% | 2.0% | 1.7% | 7.1% | 0.5% |
| 中学生 | 52.0% | 40.4% | 43.7% | 28.2% | 29.7% | 20.8% | 6.1% | 4.6% | 23.9% | 1.0% | 1.3% | 1.3% | 6.6% | 0.5% |
| 高校生 | 60.9% | 17.2% | 37.9% | 21.8% | 37.9% | 25.3% | 1.1% | 0.0% | 31.0% | 1.1% | 2.3% | 2.3% | 5.7% | 1.1% |
| 不明 | 44.8% | 41.4% | 44.8% | 31.0% | 6.9% | 17.2% | 10.3% | 17.2% | 6.9% | 3.4% | 0.0% | 6.9% | 17.2% | 0.0% |

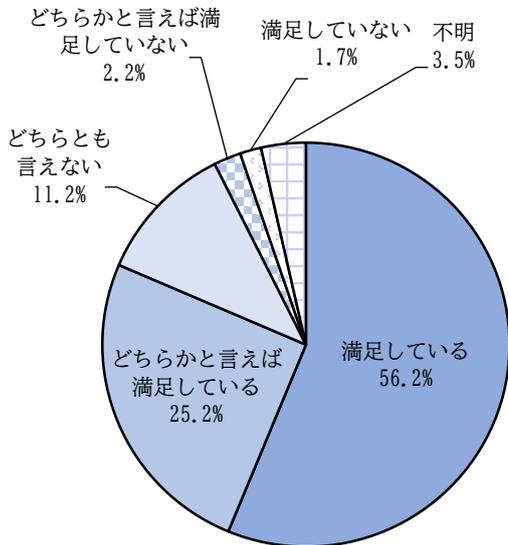
3 最近の生活の満足感について

最近の生活の満足感について、「満足している」との回答が最も多く 56.2%、次いで「どちらかと言えば満足している」が 25.2%、「どちらとも言えない」が 11.2%となっている。

その内訳を見ると、「満足している」と回答した割合が最も多いのは、小学校低学年で 59.8%となっており、最も低いのは高校生で 45.5%となっている。

Q7 最近の生活に満足していますか。

(n=2,367)



(内訳)

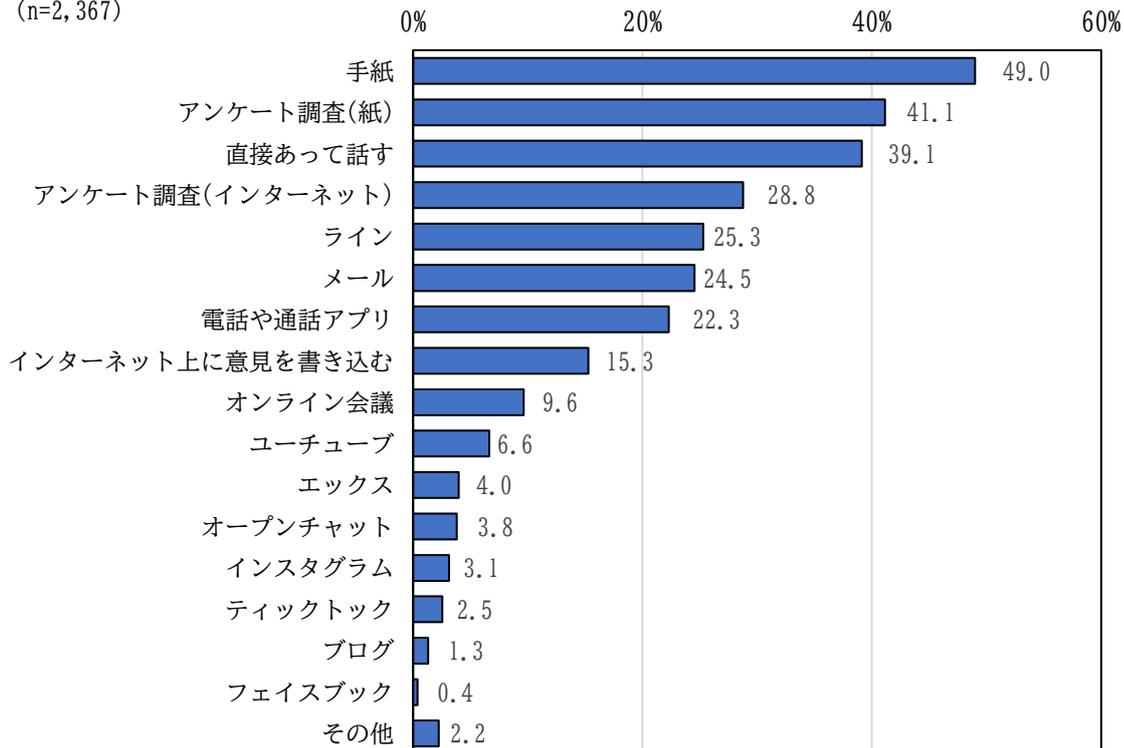
| | 満足している | どちらかと言えば満足している | どちらとも言えない | どちらかと言えば満足していない | 満足していない | 不明 |
|--------|--------|----------------|-----------|-----------------|---------|------|
| 全体 | 56.2% | 25.2% | 11.2% | 2.2% | 1.7% | 3.5% |
| 小学校低学年 | 59.8% | 20.5% | 11.4% | 1.1% | 2.1% | 5.1% |
| 小学校高学年 | 56.6% | 25.8% | 9.2% | 3.0% | 2.0% | 3.4% |
| 中学生 | 54.1% | 26.9% | 14.3% | 1.9% | 0.7% | 2.1% |
| 高校生 | 45.5% | 39.2% | 9.8% | 2.1% | 1.4% | 2.1% |
| 不明 | 58.8% | 15.7% | 13.7% | 2.0% | 2.0% | 7.8% |

4 国や広島市への意見表明について

国や広島市に自分の気持ちや意見を言いやすい手段や方法について、「手紙」が最も多く 49.0%、「アンケート調査(紙)」が 41.1%、「直接あって話す」が 39.1%となっている。また、インターネットを利用した「アンケート調査」、「ライン」、「メール」はいずれも 20%超と多くなっている。

Q8 どのような手段や方法があれば国や広島市に自分の気持ちや意見を言いやすいですか。(3つまで回答)

(n=2,367)



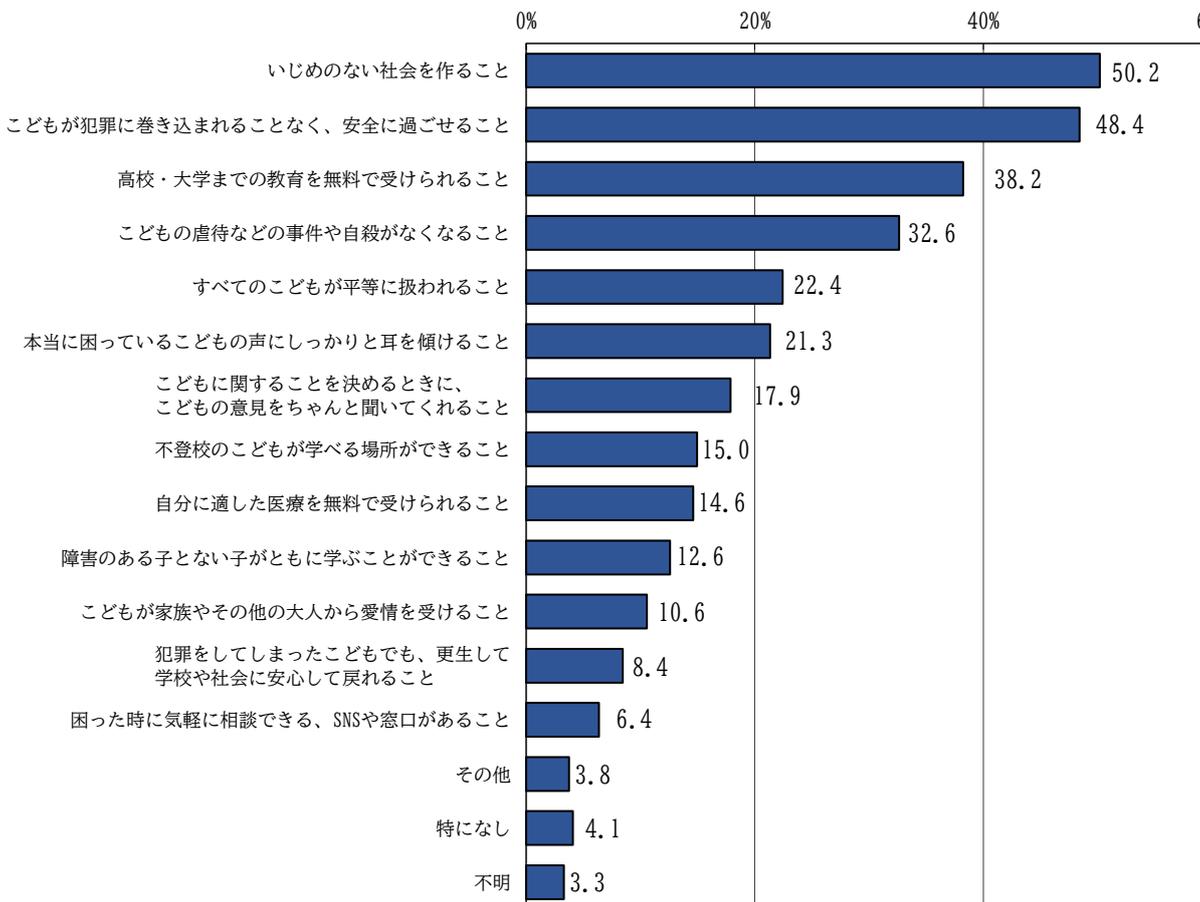
5 国や広島市が子どもたちのために力を入れた方がいいことについて

国や広島市が子どもたちのために力を入れたほうがいいと思うことについて、「いじめのない社会を作ること」との回答が最も多く 50.2%、次いで「子どもが犯罪に巻き込まれることなく、安全に過ごせること」が 48.4%、「高校・大学までの教育を無料で受けられること」が 38.2%、「子どもの虐待などの事件や自殺がなくなること」が 32.6%となっている。

内訳を見ると、最も多い回答は、小学校低学年では「子どもが犯罪に巻き込まれることなく、安全に過ごせること」で 61.4%、小学校高学年では「いじめのない社会を作ること」で 54.7%、中学生及び高校生では「高校・大学までの教育を無料で受けられること」でそれぞれ 48.6%、71.3%となっている。

Q9 国や広島市が、子どもたちのために力を入れた方がいいと思うことは何ですか。(3つまで回答)

(n=2,367)



(内訳)

| | いじめのない社会を作ること | 子どもが犯罪に巻き込まれることなく、安全に過ごせること | 高校・大学までの教育を無料で受けられること | 子どもの虐待などの事件や自殺がなくなること | すべての子どもが平等に扱われること | 本当に困っている子どもの声にしかりと耳を傾けること | 子どもに関することを決めるときに、子どもの意見をちゃんと聞いてくれること | 不登校の子どもが学べる場所ができること | 自分に適した医療を無料で受けられること | 障害のある子とない子がともに学ぶことができること | 子どもが家族やその他の大人から愛情を受けること | 犯罪をしてしまった子どもでも、更生して学校や社会に安心して戻れること | 困った時に気軽に相談できる、SNSや窓口があること | その他 | 特になし | 不明 |
|--------|---------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------|---------------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------------------|---------------------------|------|------|------|
| 全体 | 50.2% | 48.4% | 38.2% | 32.6% | 22.4% | 21.3% | 17.9% | 15.0% | 14.6% | 12.6% | 10.6% | 8.4% | 6.4% | 3.8% | 4.1% | 3.3% |
| 小学校低学年 | 54.0% | 61.4% | 30.0% | 28.1% | 12.2% | 20.2% | 13.2% | 11.9% | 11.4% | 9.8% | 9.8% | 8.7% | 5.4% | 2.7% | 7.3% | 5.2% |
| 小学校高学年 | 54.7% | 51.6% | 33.2% | 37.3% | 28.7% | 19.4% | 18.2% | 15.5% | 12.9% | 16.0% | 10.8% | 9.9% | 7.9% | 3.8% | 3.2% | 3.1% |
| 中学生 | 43.8% | 33.4% | 48.6% | 31.3% | 25.1% | 24.4% | 20.8% | 18.0% | 19.6% | 11.8% | 10.2% | 6.4% | 4.9% | 4.4% | 2.7% | 1.8% |
| 高校生 | 29.4% | 29.4% | 71.3% | 28.0% | 15.4% | 25.9% | 23.8% | 14.7% | 21.7% | 7.0% | 13.3% | 4.2% | 5.6% | 5.6% | 0.7% | 1.4% |
| 不明 | 47.1% | 47.1% | 29.4% | 27.5% | 19.6% | 25.5% | 19.6% | 9.8% | 11.8% | 5.9% | 9.8% | 11.8% | 7.8% | 3.9% | 7.8% | 5.9% |